



# 北の防人大湊づくり構想書（案）

## ヒストリアルゾーン

～明治、大正、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～



ワークショップ検討資料  
青森県むつ市



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 目次

1. 概要	
1-1. 構想書の位置づけ	1
1-2. 事業の目的	1
1-3. 北の防人大湊のまちづくりについて	1
2. 現地状況	
2-1. 水源池公園周辺の現状	2
2-2. 水源池公園周辺の現状	3
3. 市民協働まちづくりによる整備構想策定	
3-1. 策定の手順	
3-1-1. 市民主体の参加型まちづくりワークショップ	4
3-1-2. 第1回WS『水源池周辺まちあるきワークショップ』	5
3-1-3. 第2回WS『資源マップの作成ワークショップ』	5
3-1-4. 第3回WS『コンセプト・観光地名策定ワークショップ』	6
3-1-5. 第4・5回WS『具体的なハード・ソフト事業の検討ワークショップ』	7
3-1-6. 第6回WS『都市再生整備計画の検討ワークショップ』	8
3-1-7. 第7回WS『デザインの検討ワークショップ』	9
3-1-8. 第8回WS『北の防人大湊づくり構想書検討ワークショップ』	10
3-1-9. 第9回WS『基本設計検討ワークショップ』	10
3-2. プロジェクトチーム	
3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム	11
4. 社会資本総合整備計画-北の防人大湊地区都市再生整備計画	
4-1. 事業の対象区域	12
4-2. 整備方針概要図	13
4-3. 全体計画概要図	14
4-4. ゾーニング図	15
5. ハード整備によるまちづくり	
5-1. 建築物	16
5-1-1. 観光交流センター	16
5-1-2. 学習センター	17
5-1-2. 石造り士官宿舎(市収蔵庫)	17
5-1-3. 石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮)	18
5-2. 外構	20
5-2-1. 観光交流センター周辺	20
5-2-2. 石造り士官宿舎周辺	20
5-2-3. 北の防人大湊シンボルタワー 展望台	21
5-3. 公園	22
5-3-1. 水源池公園の再生	22
5-4. ポケットパーク	23
5-4-1. 北の防人大湊エントランスポケットパーク	23
5-4-2. 大湊基地展望台ポケットパーク	23
5-5. 道路	24
5-6. 駐車場	26
5-7. 案内情報板など	28
5-8. ライトアップで夜の景観づくり	28
6. 四季を感じる景観づくり	
6-1. 花とみどりに囲まれた景観づくり・まちづくり	28
花とみどりのマップ	29
7. イベント・にぎわいづくり	
7-1. 海上自衛隊施設見学ツアーの実施	32
7-2. 冬のイベントの実施	32
7-3. 四季に合わせた景観・にぎわいづくり	32
8. ソフト事業の展開	
8-1. 景観ルール策定	33
8-2. 観光案内パンフレット作成	33
8-3. オープンカフェの社会実験	33
9. まちづくり担い手・まちを育てひと	
9-1. 持続可能なまちづくり	34
10. 文化財の保存活用	
10-1. 国指定重要文化財の保存活用	34
10-2. 旧参謀長官舎の保存活用	34
11. 安全安心まちづくり	
11-1. 旧大湊水源地 水の供給	34

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

---

12. 再生可能エネルギーの地産地消	
12- 1. 再生可能エネルギー利用による地域にやさしいまちづくり	34
13. そのほか	
13- 1. 重要文化財認識度調査アンケート	35
14. 各建築物の利活用案	35

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

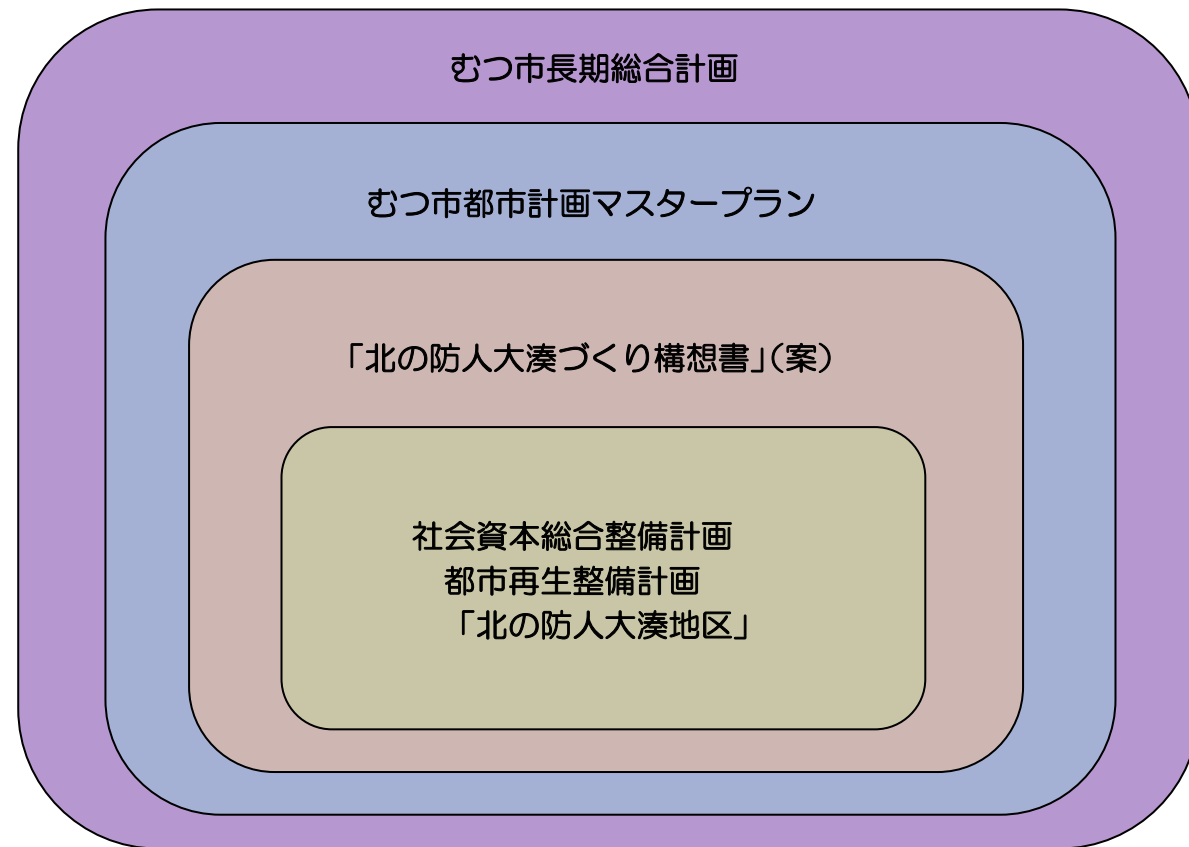
## 1. 概要

### 1-1. 構想書の位置づけ

本構想書は、平成22年7月31日から平成23年3月2日までに8回開催されたワークショップの成果報告（ワークショップの詳細内容については市ホームページに掲載されています。）を兼ね、また、今後の北の防人大湊でのまちづくり・整備の方向を示すものとなります。

また今後のまちづくりにおける状況の変化によっては、構想書の内容は、見直し検討が図られることもあります。

本構想書は、むつ市長期総合計画、むつ市都市計画マスタープランを上位計画としながら、下位計画として、都市再生整備計画が位置づけられています。



### 1-2. 事業の目的

平成 21 年 12 月 8 日、『国の重要文化財』として、旧大湊水源地水道施設が指定を受けました。

この貴重な文化財および周辺の景観・歴史などを有効活用し、市民協働、景観を活かしたまちづくりにより水源池公園および周辺の地域を市民、観光客など誰もが親しめる憩いのゾーンとして創出し、むつ市の地域・観光交流の拡大・増進を目指します。

### 1-3. 北の防人大湊のまちづくりについて(北の防人大湊づくり)

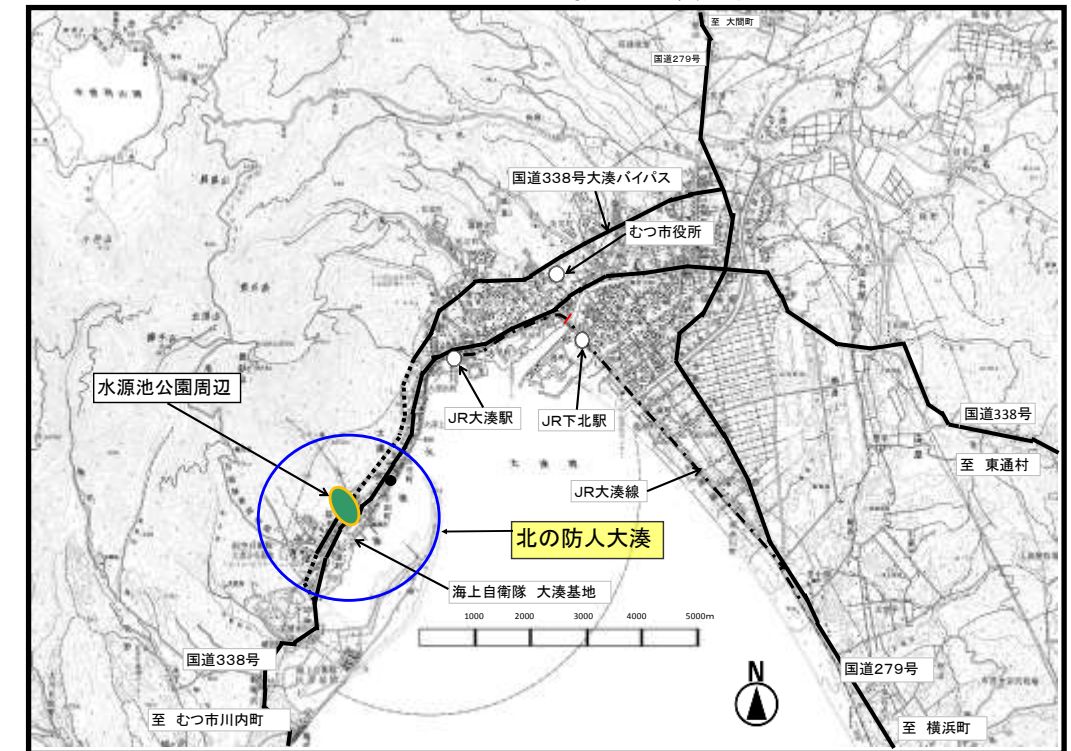
#### 事業概要

- ・ 憩いのゾーン【北の防人大湊】  
～国指定重要文化財「旧大湊水源地水道施設」、北洋館や海上自衛隊大湊基地、釜臥山スキー場など都市公園「水源池公園」周辺から構成される一帯をさします。
- ・ まちづくりのコンセプト『ヒストリアルゾーン  
～明治、大正、海防、花とみどり豊かな旧大湊水源地～』
- ・ 市民協働まちづくりとして「北の防人大湊づくりワークショップ」を計9回開催。
- ・ 国土交通省所管 社会資本整備総合交付金事業の社会資本総合整備計画「都市再生整備計画（従来のまちづくり交付金）」を活用します。

#### 「今後の流れ」

- 平成23年～平成27年の5カ年計画
- 平成23年 実施設計
- 平成24年 工事の随時着手

図 1-1 北の防人大湊位置図



水源池公園は、大湊駅より国道338号線で南西6km程度離れたむつ市宇田町、桜木町に位置する。地域は海上自衛隊の大湊基地に近接し、自衛隊施設、住宅が周囲に点在する。北側は宇田川の上流につづき、砂防ゾーン、山間の森林となる。背後に、釜臥山、スキー場があり、豊かな自然と相まって潜在的な観光資源を有する。

## 2. 現地の状況

### 2-1. 水源池公園周辺の現状



写真① 沈澄池堰堤



写真② 第一入口



写真③ 乙水槽



写真④ むつ市学習センター

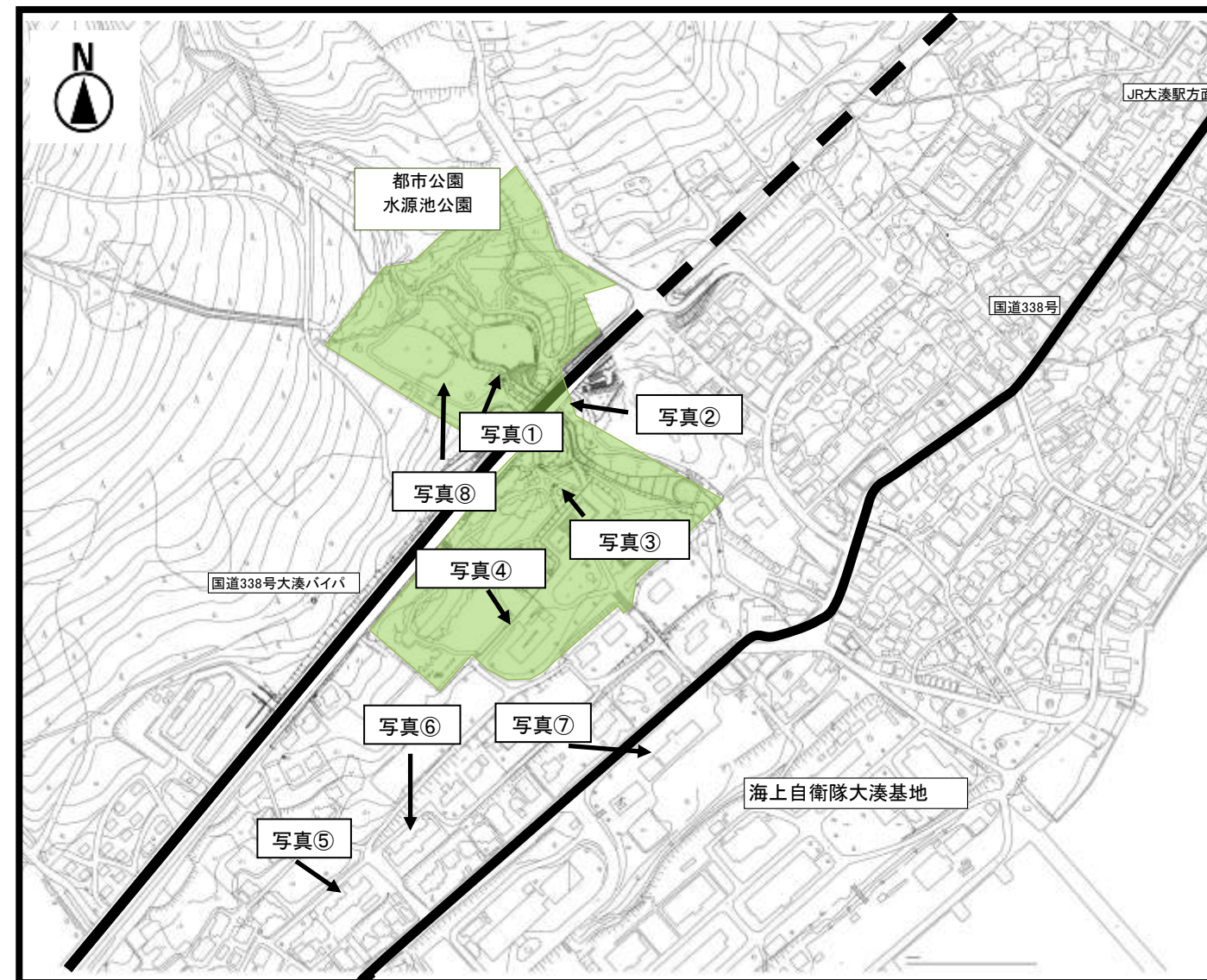


図 水源池公園周辺現状図

写真①:『沈澄池堰堤』。水道施設の拡張工事(明治41年着工、明治43年着工)の一環として建設される。現在は水源池公園のイメージ、象徴として市民に定着している。

写真②:『第一入口』。大湊水雷団(明治35年開庁)の艦船補給用水確保のため建設された。

写真③:『乙水槽』。沈澄池堰堤から引かれた管路をろ過池と艦船給水所の2方向に分岐するために築かれた。

写真④: むつ市学習センターはコンクリート造であり、市民の趣味活用のもとで使用されている。外壁、屋根の老朽化が目立つ。

写真⑤: 文化財収蔵庫は石造り建築物で、展示品が数多く収められているが、展示スペースが足りずに散乱状態となっている。

写真⑥: 旧大湊高校女子寮は石造りであり、現在は利用されておらず、仕上げ材の老朽化が顕著であるが外壁の損傷は少ない。

写真⑦: 北洋館は大正5年に海軍大湊要港部の水交社(海軍士官の社交場)として建設され、現在は海軍及び自衛隊関連の展示施設として活用されている。

写真⑧: 水源池公園内にプレハブの管理棟が配置され、そこで公園管理を行っている。



写真⑤ 文化財収蔵庫



写真⑥ 大湊高校旧女子寮



写真⑦ 北洋館



写真⑧ 水源池公園 管理棟

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 2-2. 水源池公園周辺の現状



写真⑨ 国道 338 号線の案内看板



写真⑩ 水源池公園進入路



写真⑪ 学習センター駐車場



写真⑫ 駐車場、学習センターへ至る道路

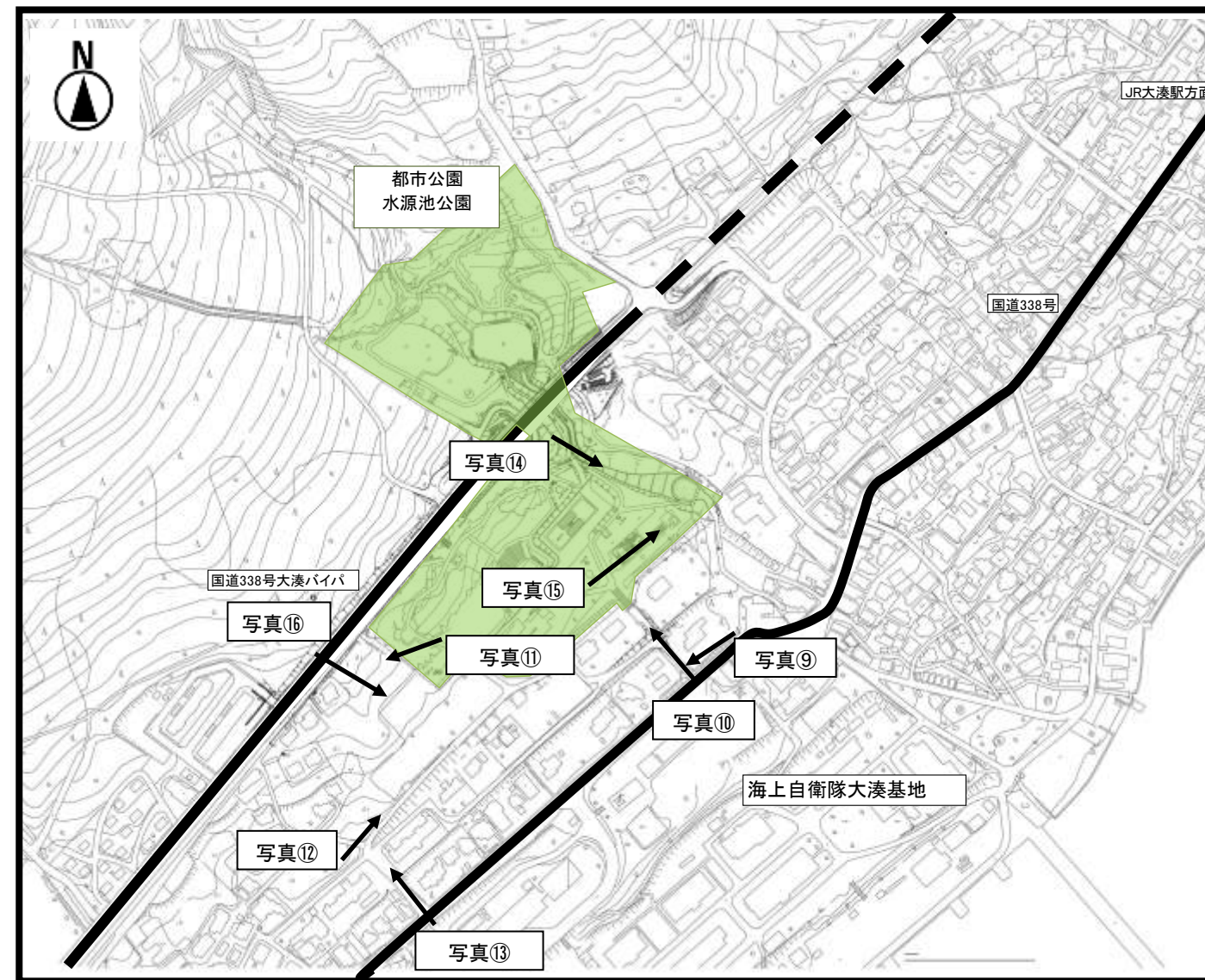


図 水源池公園内現状図

写真⑨: 国道 338 号線にある北洋館及び水源池公園の案内看板。大きなカーブの付近にあり見落としやすい。  
 写真⑩: 北洋館と水源池公園を結ぶ道路であるが、幅員は狭く、歩行者の安全安心の確保が課題である。  
 写真⑪: 学習センターへの来客者駐車場であるが、桜祭りなどのイベントの際に利用が増加する。  
 写真⑫: 駐車場、学習センターへ至る道路は幅員が狭く、案内看板が小さく見落としやすい。  
 写真⑬: 収蔵庫と女子寮の間の道は比較的広く、学習センターへ車で訪れる際にはこちらから入る。  
 写真⑭: 沈澄池堰堤から流れる水は、宇田川として水源池公園の端を通りやがて芦崎湾へと流れ込む。  
 写真⑮: 水源池公園内に新設の水洗トイレが 1 棟建設されているが、その他大半のトイレが汲み取り式でバリアフリー化されていない。  
 写真⑯: 水源池公園からは芦崎湾が一望でき、護衛艦の停泊の様子や芦崎湾の景観を楽しむことができる。



写真⑬ 文化財収蔵庫、大湊高校旧女子寮前道路



写真⑭ 水源池公園内の流水



写真⑮ 水源池公園内トイレ



写真⑯ 水源池公園周辺からの大湊基地眺望

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

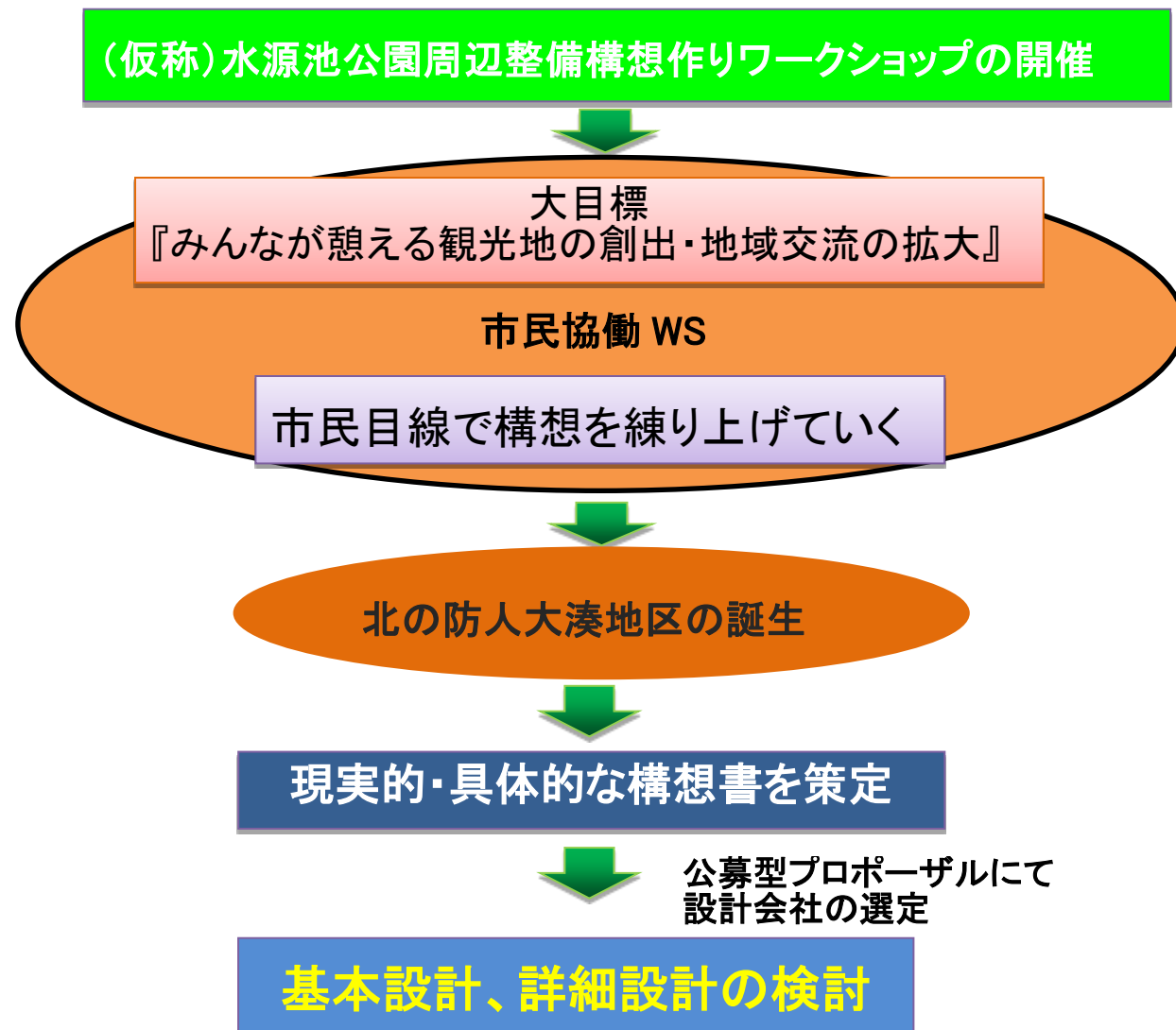
## 3. 市民協働によるまちづくり～整備構想の策定～

### 3-1.策定方法

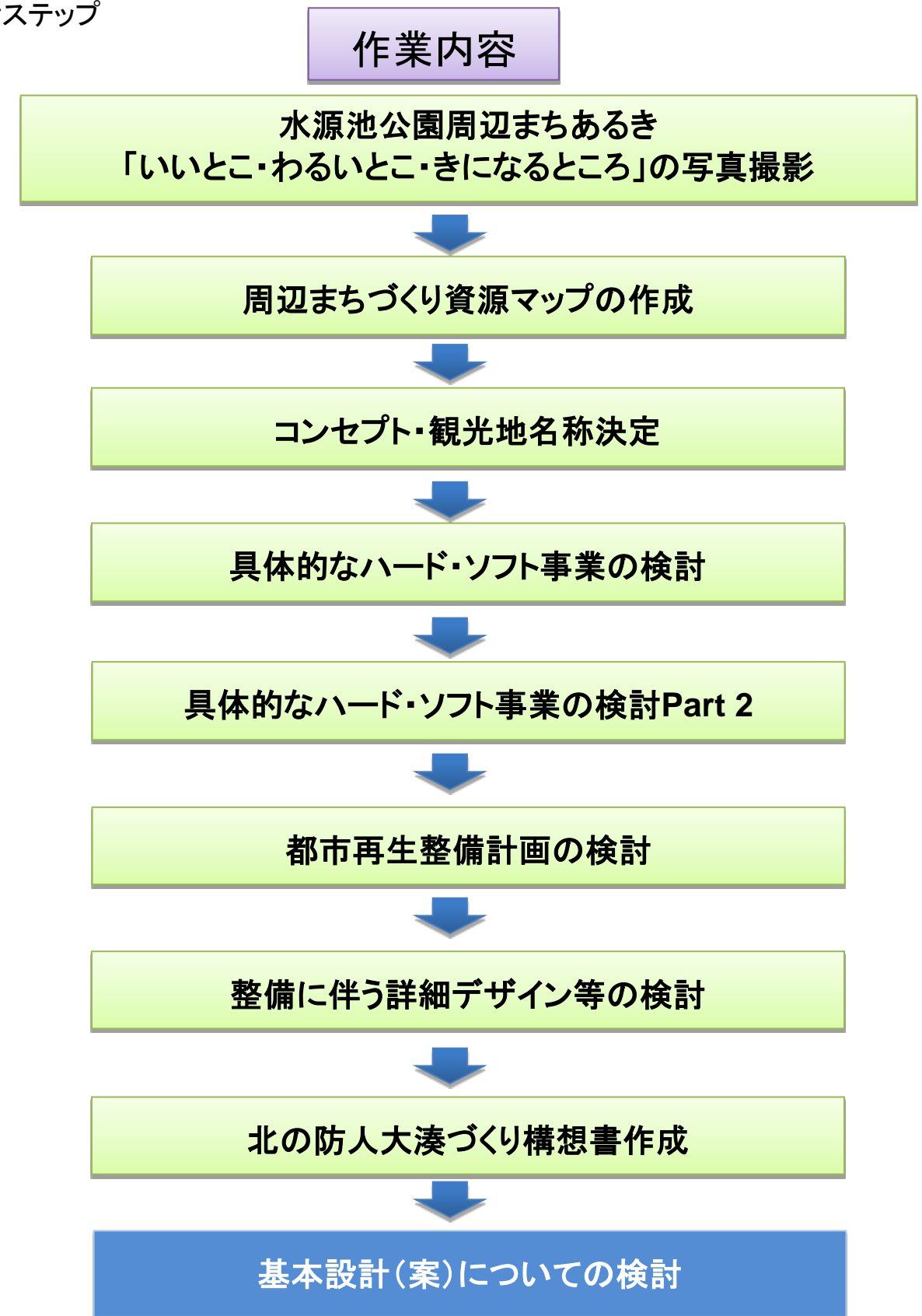
#### 3-1-1.市民主体の参加型まちづくりワークショップ

これまでの事業構想の進め方は、市民等の要望などから、市側で事業構想をまとめる形が主でした。今回は、「道路や建築物など公共施設等の整備・改修のメニュー検討」、「土木・建築工事ではないソフト事業」、「デザイン・景観」などについて、構想初期段階から市民主導で作り上げていく市民協働のまちづくり作業で、整備構想をまとめ上げています。

対象地域や既存施設（既存ストック）などの構想材料をもとに、フリースタイルで市民主導により意見等を出し合い構想案を練り上げていく、いわゆるワークショップ：WSにより構想案を策定していき、さらに、その構想案に対して市民意見を重ねて、最終的に一つの構想に取りまとめました。



### WSの検討ステップ





# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 3-1-2. 第1回WS(平成22年7月31日)

### 水源池公園周辺まちあるきワークショップ 『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』の写真撮影

・第1回ワークショップでは、水源池公園周辺の整備内容について、集まっていた市民へ説明を行い、22名のワークショップメンバーを四つにグループ分けをしました。その後、各グループに分かれ、自己紹介ワークショップを行い、水源池公園周辺の探索に出かけました。探索では『いいとこ・わるいとこ・きになるところ』について写真撮影をし、写真撮影後は、各々が感じたことについて意見交換を行いました。また、グループ名も決めました。

#### 【ワークショップグループ】

- ・ チーム感幸
- ・ 1班グループ
- ・ チーム水溜り
- ・ 種市チーム

#### 【WS風景】



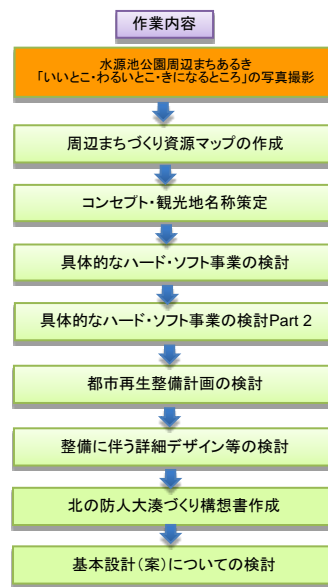
整備構想説明



自己紹介 WS



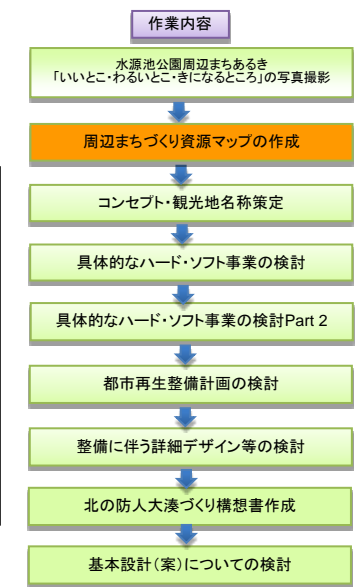
水源池公園周辺探索まちあるき



## 3-1-3. 第2回WS(平成22年8月25日)

### 資源マップ作成ワークショップ

・第2回ワークショップでは、今回の事業とまちづくり交付金の関係を説明し、その後、まちづくり資源マップ作成を行い、第1回WSで探索したルートを書き込みや、撮影した写真を貼り付けながら、赤、青、黄色の三色の付せんを使って『いいところ・わるいところ・きになるところ』について記入し貼りつけました。さらに急ぎよ緑色の付せんには思いついたことも記入しました。そして、完成した資源マップについて発表会を行いました。



#### 【作業風景】



#### 【資源マップ】

水源池公園周辺の地図へ実際に歩いたルートを書き込み、撮影した写真を貼りつけていく。また、4色の付せんを使用して、意見を記入。この資源マップを作成したことにより、現状での課題や今まで見えなかった良い面の発見をする。そして、整備の方向性や具体的なイメージづくりとなる。



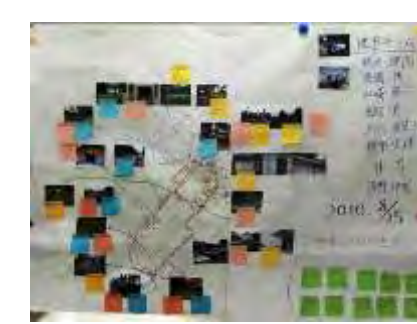
1班グループ



チーム感幸



チーム水溜り



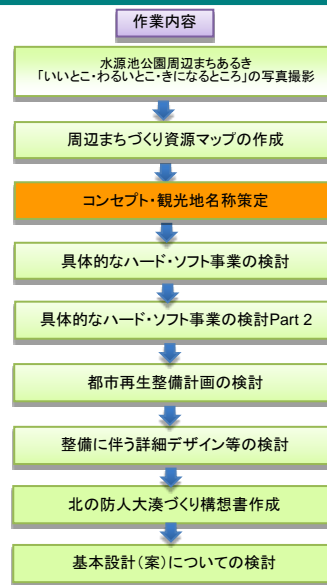
種市チーム

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

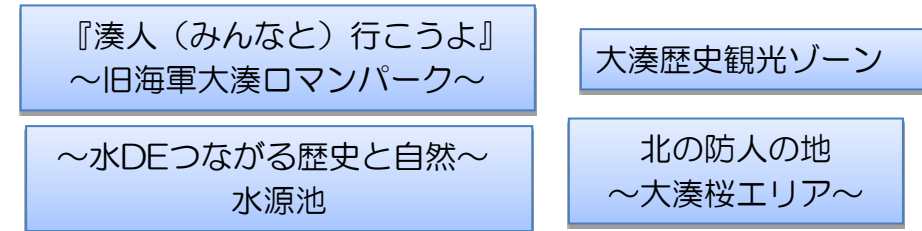
3-1-4. 第3回WS(平成22年9月1日)

## コンセプト・観光地名称策定ワークショップ

・第3回ワークショップでは、コンセプト・観光地名策定の前に、景観法による景観づくりについての説明を行いました。コンセプト・観光地名策定作業では、第2回ワークショップで作成されたまちづくり資源マップなどから、この観光ゾーンのキーワードを探し出し、それに基づいてコンセプトや観光地名称の検討を行いました。そして、ワークショップの最後に各グループ意見を発表しました。



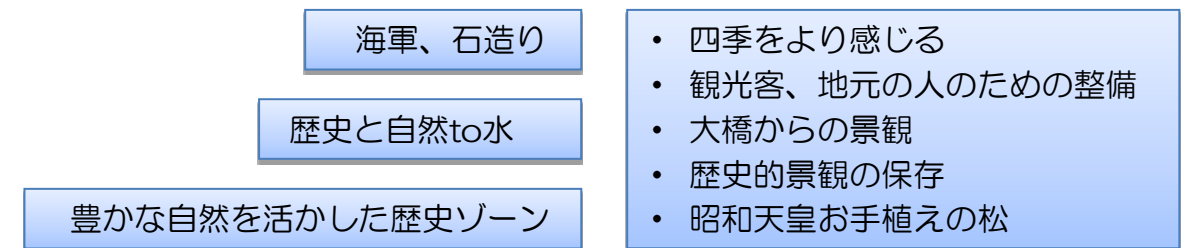
## 【観光地名称】



きたのさきもり おおみなと

北の防人大湊

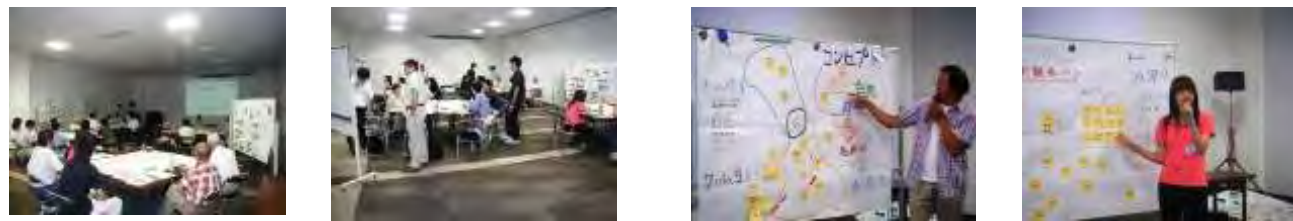
## 【コンセプト】



ヒストリアルゾーン

～明治、大正、海防、石造り建造物、自然豊かな旧大湊水源地～

## 【WS風景】



## 【資源マップ】



1班グループ

チーム感幸

チーム水溜り

種市チーム

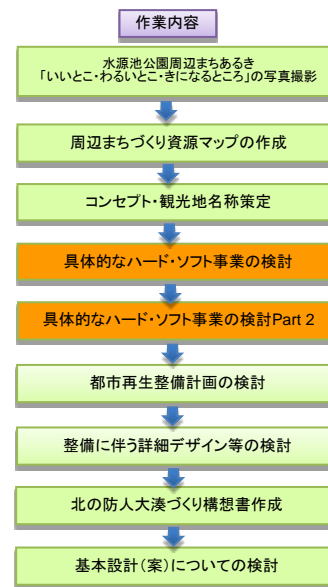
・ワークショップにより出された各グループの意見を集約し、観光地名称を政策推進会議で『北の防人大湊』と決定。旧海軍とゆかりの深い大湊地区であり、北の要港大湊を守るというイメージから、北の防人というフレーズが連想され観光地名に反映されることとなり、また、整備コンセプトとして『ヒストリアルゾーン～明治、大正、海防、石造り建築物、自然豊かな旧大湊水源地～』とし、明治、大正時代のレトロな雰囲気を纏い、旧海軍の海防イメージや使用していた施設をリノベーション活用し、歴史を伝えていき、水源池公園などの自然豊かで癒しの空間の魅力を多くの人に発信していくこととした。

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

3-1-5. 第4、5回WS(平成22年9月8日、9月10日)

## 具体的なハード・ソフト事業検討ワークショップ

・第4回目のワークショップでは、具体的事業の検討の前に、駐車場と歩くルートについての説明がされました。そして具体的な歩くルートの検討をし、次に、ハード・ソフトメニューについての説明がされ、ハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い第4回WSは終了とし、第5回は、引き続きハード・ソフト事業のメニュー選択作業を行い、最後にグループごとに歩くルート、ハード・ソフトメニューについて発表を行いました。



1班グループ



チーム感幸

## 【WS風景】



チーム水溜り



種市チーム



## 【北の防人キャラクター】



デジタル化



北の防人とのコラボキャラクターたち



観光地キャラクターの誕生

- ・ 第2、3回目のWSで作成した資源マップやコンセプトシートを基に具体的な事業メニューを検討。
- ・ 観光ルートの策定を行うことで、具体的な散策イメージを膨らませ、舗装イメージなどが明確化する。また、ベンチや東屋などの休憩スペースの配置計画へと発展し、水源池公園入口にバリアフリー対応のされたスロープの設置など多くの斬新なアイデアが発表された。
- ・ 海上自衛隊などの他の関係部署とも連携した事業整備も必要であるとする意見もあった。
- ・ 青色の付せんは『ソフト事業』、赤色の付せんは『ハード事業』となっているまた、事業のイメージをイラストにして表現しているグループも見受けられる。

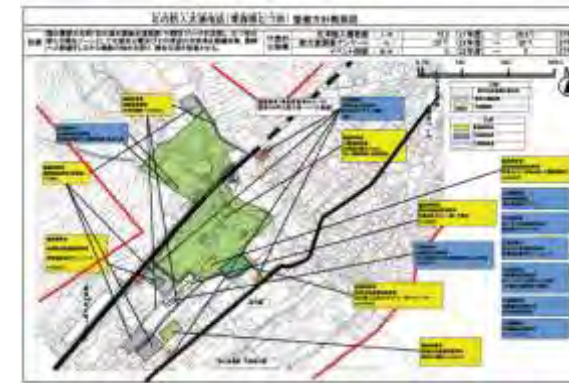
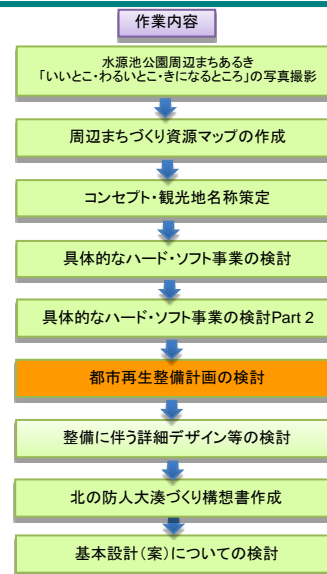
・むつ市のマスコットキャラクターであるムッシュ・ムチュラン1世とマダム・ムチュリーを北の防人大湊のソフト事業とコラボさせ、観光地のキャラクターを生み出した。

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

3-1-6 第6回WS(平成22年11月26日)

## 都市再生整備計画検討ワークショップ

第6回目のワークショップでは、北の防人大湊プロジェクトチームで今まで話し合った意見や資源マップ、コンセプトシート、ソフト・ハード事業の具体的案を基に、ブラッシュアップ(磨き上げ)を行い作成し、都市再生整備計画書についての検討を行いました。なお、人数の都合上、1班グループと種市チームが合併グループとして検討作業を行いました。  
この回からWSの名称が北の防人大湊づくりワークショップと改称されました。



A案方針概要図



B案方針概要図

都市再生整備計画の検討にあたり、「文化財収蔵庫、旧女子寮を移設させ機能の集約を図るA案」と「石造り建築物をリノベーション活用し、更に新設の建物を1棟建設するB案」の2案を提示し、目標や指標などの検討を行った。(集約を図るA案がおおむね好評を得た。)

### 【都市再生整備計画】

都市再生整備計画？

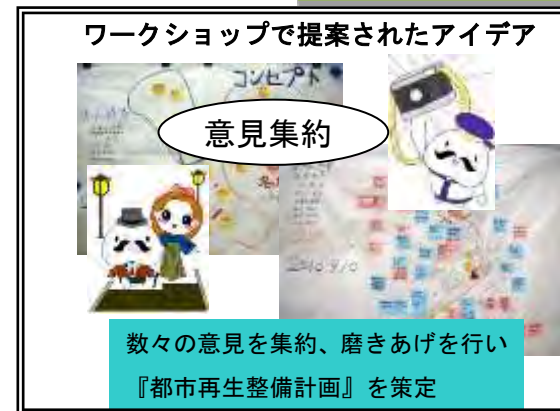
北の防人大湊づくり

都市再生整備計画事業として行われる事業

都市再生整備計画事業

国からのまちづくり交付金(社会資本整備総合交付金)

都市再生整備計画の作成が必要不可欠



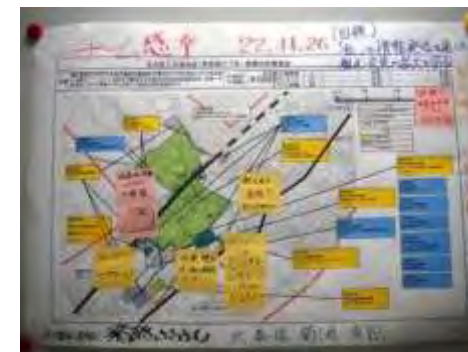
整備方針概要図

都市再生整備計画とは、「都市再生特別措置法」に基づいて、市町村が作成するまちづくりの計画。これは、都市の再生が必要な土地の区域において、まちづくりの目標やその達成のために必要な事業等が記載され、地域の創意工夫が反映された総合的なまちづくりの計画となる。また、都市再生整備計画に基づいて実施される事業について、事業費の一部に「まちづくり交付金」が国から交付される。(この事業は、まち交などと呼ばれる。)

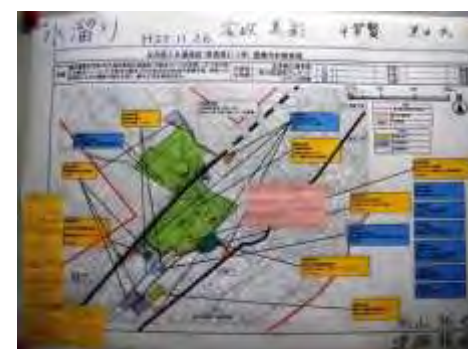
今回の、北の防人大湊づくりにもこの「まちづくり交付金」を活用するため、都市再生整備計画の作成が必要である。



1班グループ&種市	
採用案	A案
区域	・建築がまとまっている ・乗客しやすい ・駐車場の広い ・予算的にも妥当 ・道路がわかりやすい ・妥当だが、城ヶ沢地区まで入れてはどうか
目標3	・思い出に残るような環境 ・自然を活かした環境 ・訪れた方々が何度も来たい
指標	
新指標	・バス乗降回数(最寄りバス停) ・駐車台数 ・ゴミの量
北洋館	・妥当
イベント回数	・妥当
魅力度アンケート	・従前値 20%→10% ・目標値 80%→60%
宿泊	・妥当ではあるが、ちょっと多い?



チーム感幸	
採用案	A案
目標3	「食」の情報発信を通じて観光・交流の拡大を図る
指標	・地産地消率の向上 従前値 0% → 目標値 25%
方針概要図	・女子寮に地産地消形のレストランを開設 ・現在の収蔵庫の収蔵機能は他の施設へ移動 ・収蔵庫を室内コンサートホール、ワインバーに改修 内容: ナイトバーでワインバー、ビアホール開催 : ダンスパーティー ・お酒を飲んだら泊まれる宿泊施設がほしい



チーム水溜り	
採用案	A案、B案どちらでもよい : 移転しても文化財と認定されるなら移転したほうがよい
指標	
北洋館	・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
魅力度アンケート	・目標値 80%→70%
宿泊者数	・周辺が整備されることで増加が見込まれるので妥当
イベント回数	・四季毎に大きなイベント4回 OK(つつじ祭り、あじさい祭り)

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

3-1-7. 第7回WS(平成23年1月28日)

## デザイン検討ワークショップ

第7回目のワークショップでは、整備に伴う建物の外装、内装や舗装などの詳細デザインのイメージ検討を行いました。建築物、道路舗装など各フォーマットへ各地軍港や観光先進地の写真の中から、イメージに合うものを選択してもらい、コメントなど入れ具体的イメージを広げていきます。

建物	外壁	内装
地域交流センター(学習センター)		
地域交流センター(文化財収蔵庫)		
観光交流情報センター(旧女子寮)		
観光交流センター		

道路・小路
路面舗装
駐車場
休憩スペース

公園・モニュメント
園路
休憩
休憩スペース
モニュメント

案内看板
水源地周辺地区
公園内
北の防人大湊地区広域

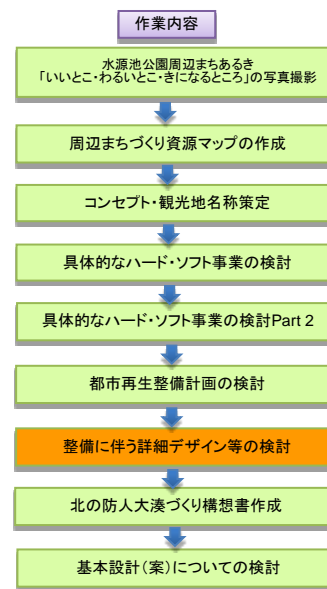
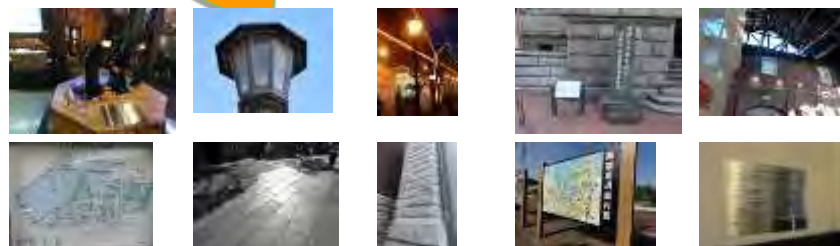
  

街灯
水源地公園周辺
公園内

イベント・その他

具体的なデザインイメージの写真を選択し、コメントを書き入れていく



**1班グループ&チーム様市**

建物	外壁	内装
地域交流センター(学習センター)		
地域交流センター(文化財収蔵庫)		
観光交流情報センター(旧女子寮)		
観光交流センター		

道路・小路	メイン舗装	文化財収蔵庫付近
路面舗装		
駐車場		
休憩スペース		

公園・モニュメント	モニュメント
園路	
休憩	
休憩スペース	
モニュメント	

案内看板	案内看板	説明看板	文化財収蔵庫	道路標識	シオラマ
水源地周辺地区					
公園内					
北の防人大湊地区広域					

街灯	水源地公園周辺	小路
水源地公園周辺		
公園内		

イベント・その他	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	桜祭り

**チーム感幸**

建物	外壁	内装
地域交流センター(学習センター)		
地域交流センター(文化財収蔵庫)		
観光交流情報センター(旧女子寮)		
観光交流センター		

道路・小路	石畳舗装
路面舗装	
駐車場	
休憩スペース	

公園・モニュメント	すべりにくい舗装	公園入口	案内看板
園路			
休憩			
休憩スペース			
モニュメント			

案内看板	総合案内看板	施設案内看板
水源地周辺地区		
公園内		
北の防人大湊地区広域		

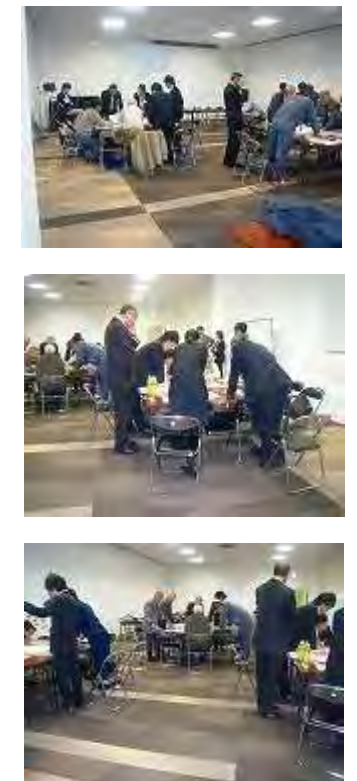
  

街灯	水源地公園周辺	街灯イメージ
水源地公園周辺		
公園内		

イベント・その他	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫	桜祭り

## 作業風景



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

3-1-8. 第8回WS(平成23年3月2日)

## 北の防人大湊づくり構想書検討ワークショップ

第8回目のワークショップでは、北の防人大湊プロジェクトチームで作成した構想書のたたき台をもとに検討を行いました。また、道路整備に関連した路線名の考案も構想書の検討と同時進行で行いました。なお、第8回WSではグループ編成を2グループとし、『1班グループと種市チームの合併グループ』、『チーム感幸とチーム水溜りの合併グループ』で構想書の作成作業に取り組みました。

### 【WS風景】



### 【路線名検討】



構想書の検討作業は、パソコンとプロジェクトを使用し、直接、構想書たたき台への修正や、不足部分への加筆を行った。また、建築物の名称について考案してもらい、北の防人大湊に因んだ名称が提案された。道路整備に関する路線名の検討も行われ、多くの意見が提案された。構想書検討後は、発表会を行い、北の防人大湊づくり WS 最後ということもあり、メンバー全員で輪を囲み、その中で検討した意見の発表を行った。第8回のWSで検討させた意見を基に、構想書の磨き上げを行う。



3-1-9. 第9回WS(平成24年2月10日)

## 基本設計検討ワークショップ

第9回目のワークショップでは、WS意見や構想書の内容を盛り込んだ基本設計(案)についての検討を行いました。事務局からは、事業進捗状況や、北洋館から国道を挟んでななめ右向かいに位置する「旧参謀長官舎」の調査に関する報告、現在進行中の設計業務について説明を行い、大幅な変更として学習センターを改修するのではなく、観光交流センターと合築して建設することについての説明が行われました。さらには、企業局から東日本大震災を踏まえ、旧大湊水源地という地域特性を考慮した耐震性貯水槽設置とした安全安心についての説明も行われました。

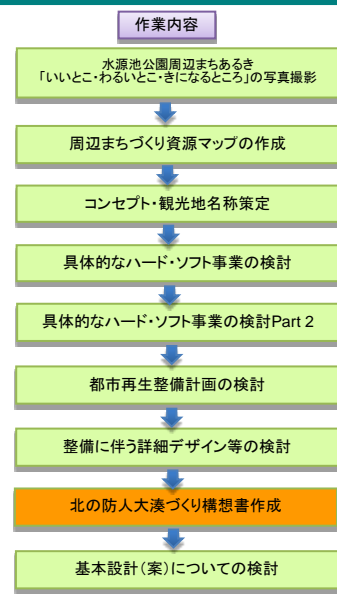
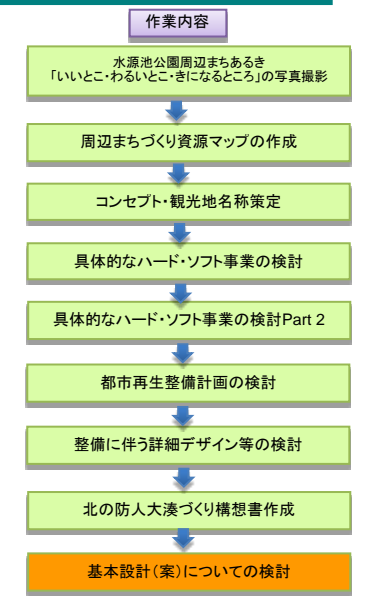
### 【WS風景】



### 【建物・土木基本設計の検討】



建物基本設計の検討では、整備の全体計画に対する意見や建物平面に関する検討、外壁の形状、屋根色の選択を行った。検討後の意見発表会では、学習センターと観光交流センターの合築プランには、賛成意見でまとめ、観光交流センターの外壁は、石造りの重厚感では冷たいイメージとなり不評であり、逆に木の暖かさ風合いを活かした木板仕上げを推す意見やレンガ調とする意見も発表された。収蔵庫は歴史の教授と文化の創作の場として活用し、旧女子寮は歴史の伝承と市民交流活動の場として活用していくことが発表された。また、耐震性貯水槽の設置も賛同が得られた。今回のWSで出た意見等は今後の詳細設計に反映させていく。

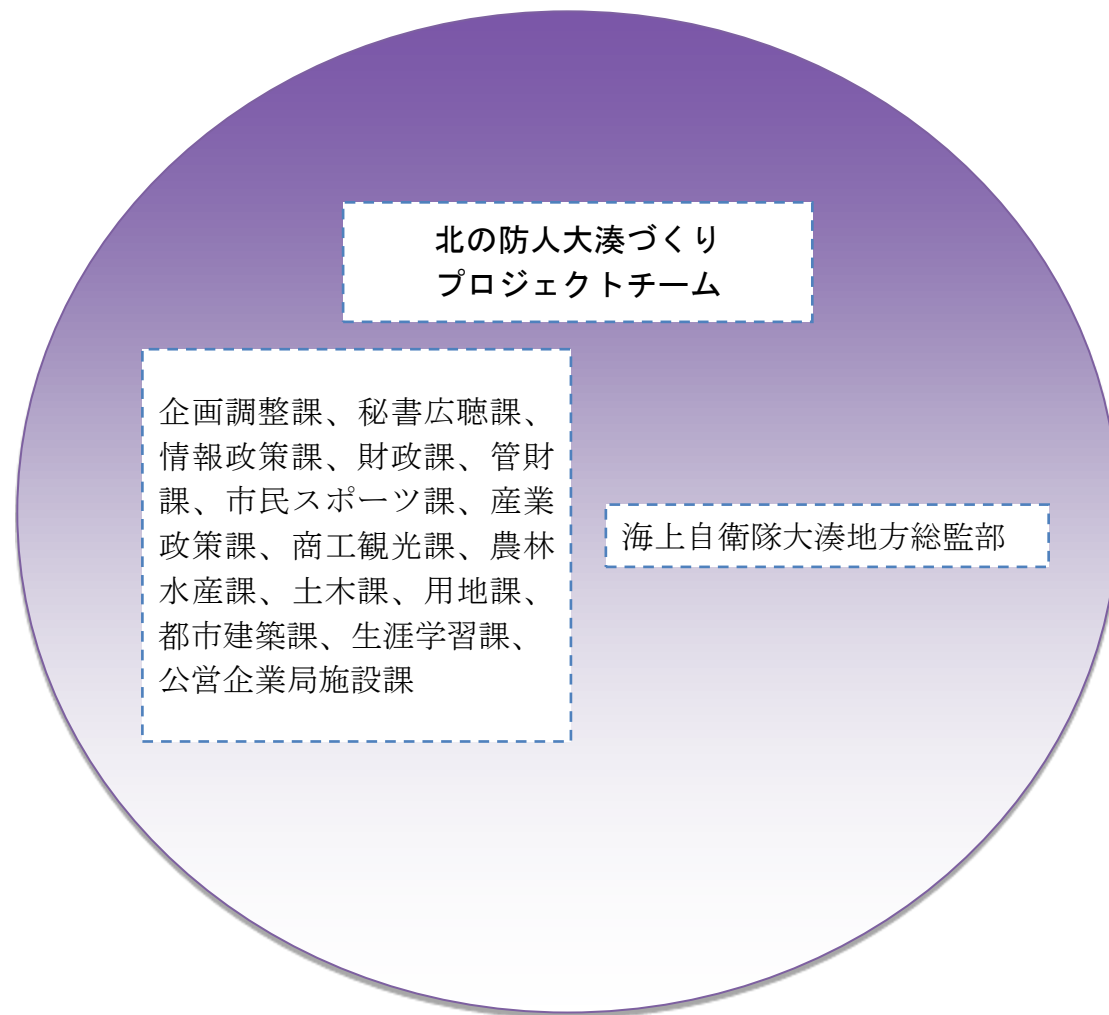


## 3-2. プロジェクトチーム

### 3-2-1. 北の防人大湊づくりプロジェクトチーム(PT)

従来、事業の遂行にあたっては、個別の課による成果によって目標を達成しようとしてきましたが、北の防人大湊づくりは、あらゆる分野の相互的な積み重ねによって、『市民・観光客の交流拡大』という大目標の達成を目指すこととなります。そこで、事業計画・事業進行・事業後の継続を効果的に推進するために、市庁内の多数の課や海上自衛隊大湊地方総監部から構成される「北の防人大湊づくりプロジェクトチーム」が設置されています。

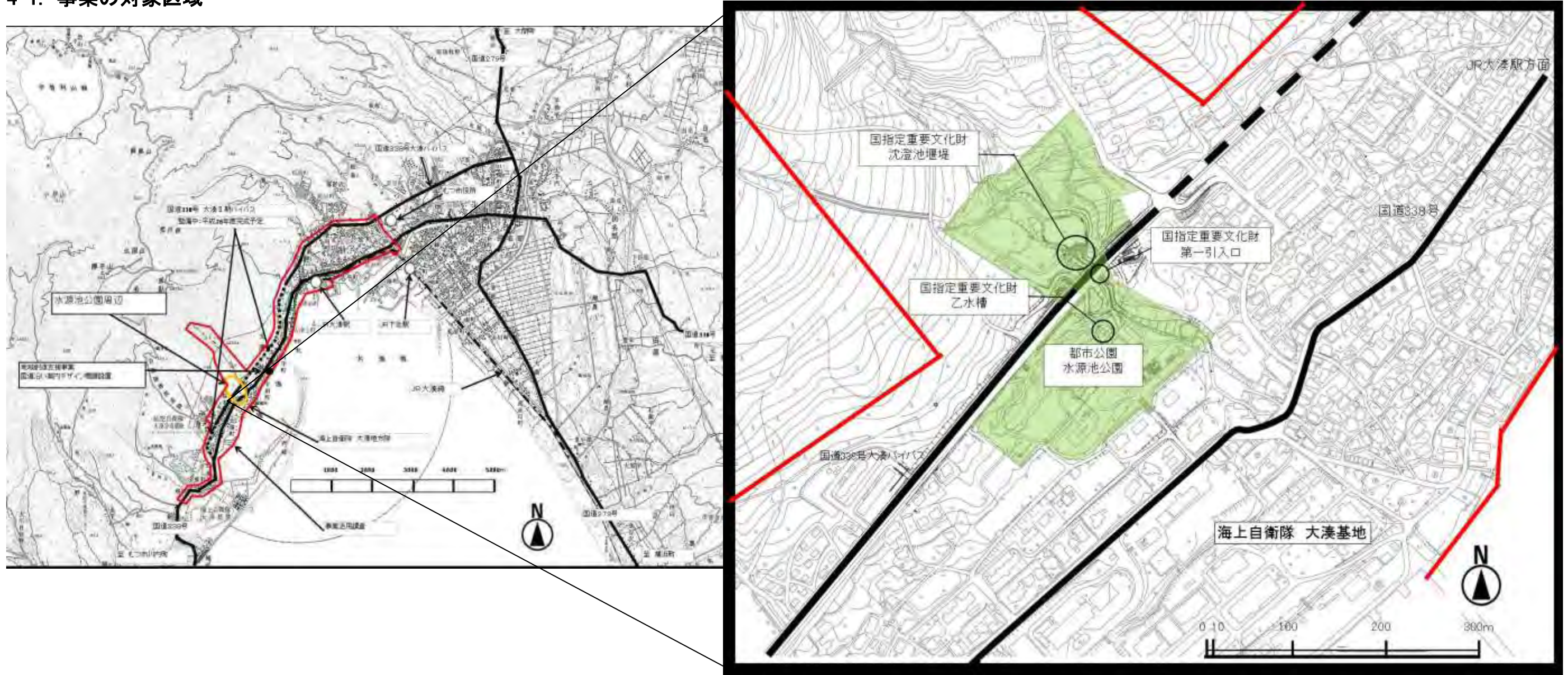
このPTでは、事業の進捗調整、他団体との調整を図り、目標に向かってまちづくりを推進します。



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 4. 社会資本総合整備-北の防人大湊地区都市再生整備計画

### 4-1. 事業の対象区域



都市再生特別措置法に基づく都市再生整備計画【北の防人大湊地区】

【面積】:510ha

【区域】:大湊町、川守町の全部及び大字大湊、大字城ヶ沢、桜木町、宇田町、大湊上町、大湊浜町、大湊新町、大平町、旭町、並川町、文京町、山田町、中央二丁目の一部

【メイン整備地区】:水源池公園周辺



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 4-2 整備方針概要図

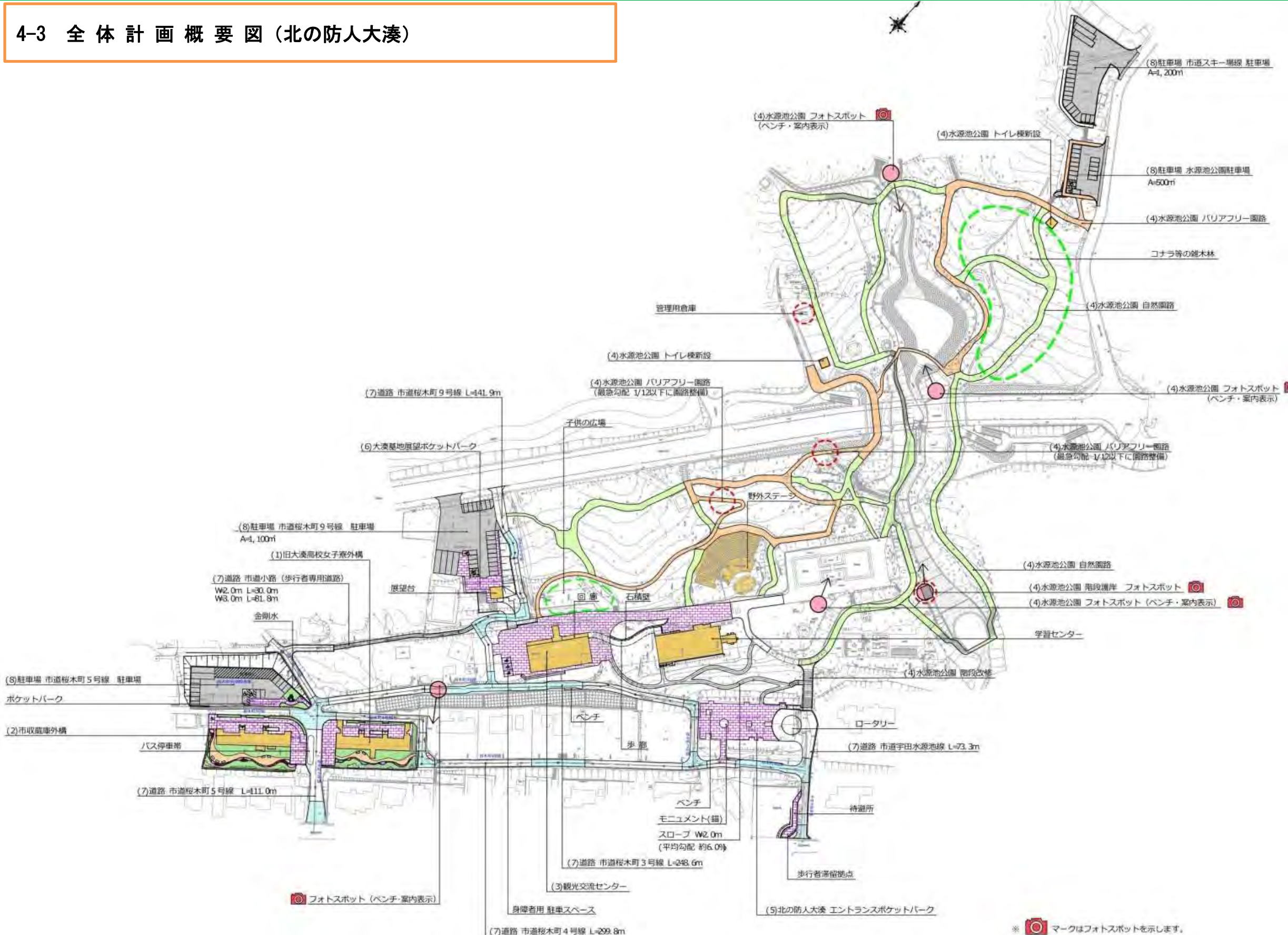
・WSで検討された項目を基に事務局側で再度、都市再生整備計画の修正を行いました。修正したものを案として、市表・縦覧し、都市再生整備計画ならびに北の防人大湊づくりに対する市民意見を募集し(平成23年1月20日～2月)た。

都市再生整備計画の変更を  
予定しています。

北の防人大湊地区(青森県むつ市) 整備方針概要図



4-3 全体計画概要図（北の防人大湊）



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 4-4 北の防人大湊 ゾーニング図

自然体験学びゾーン

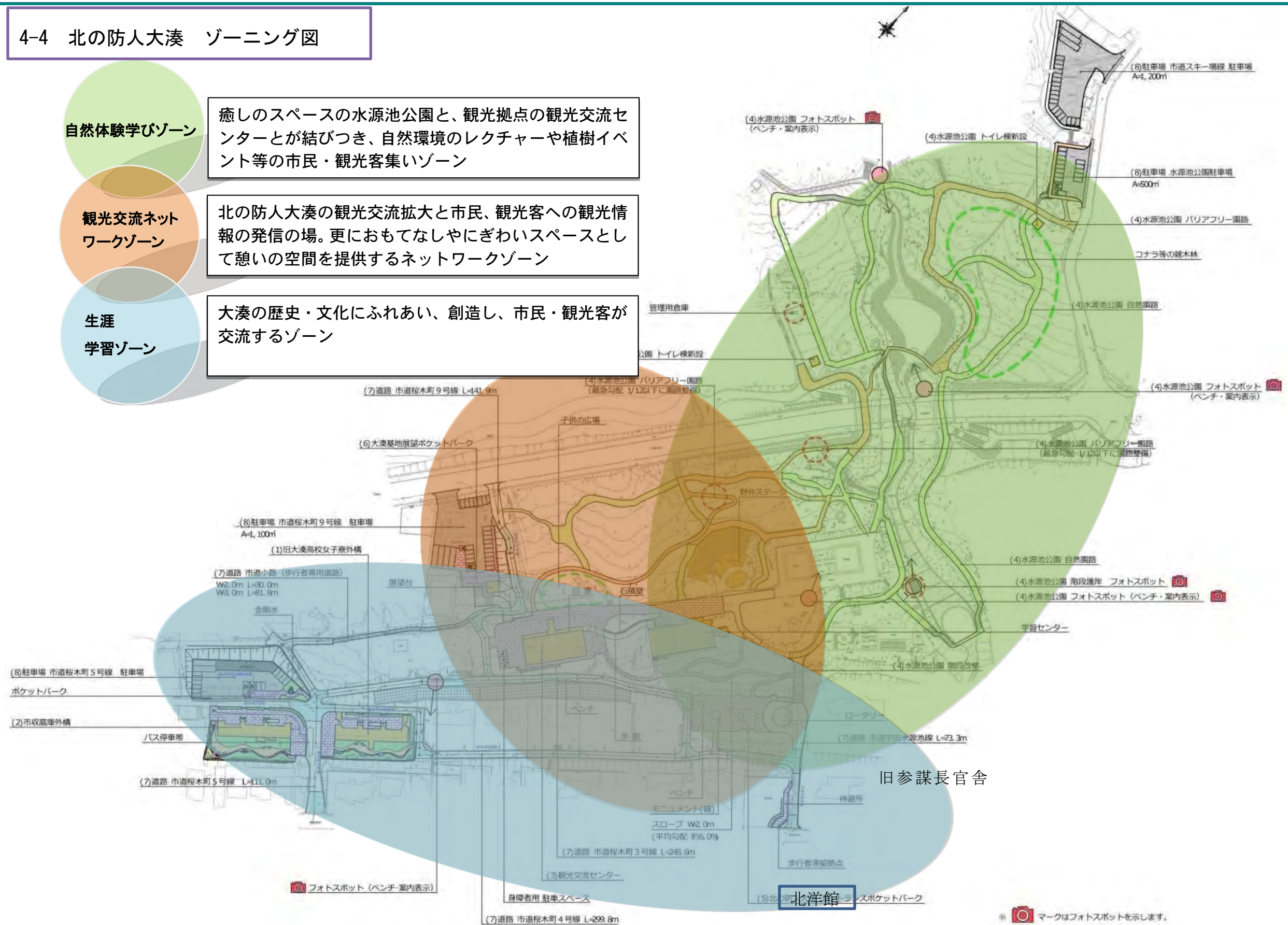
癒しのスペースの水源池公園と、観光拠点の観光交流センターとが結びつき、自然環境のレクチャーや植樹イベント等の市民・観光客集いゾーン

観光交流ネットワークゾーン

北の防人大湊の観光交流拡大と市民、観光客への観光情報の発信の場。更におもてなしやにぎわいスペースとして憩いの空間を提供するネットワークゾーン

生涯学習ゾーン

大湊の歴史・文化にふれあい、創造し、市民・観光客が交流するゾーン



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5 ハード整備によるまちづくり

### 5-1 建築物

#### 5-1-1 新築 観光交流センター

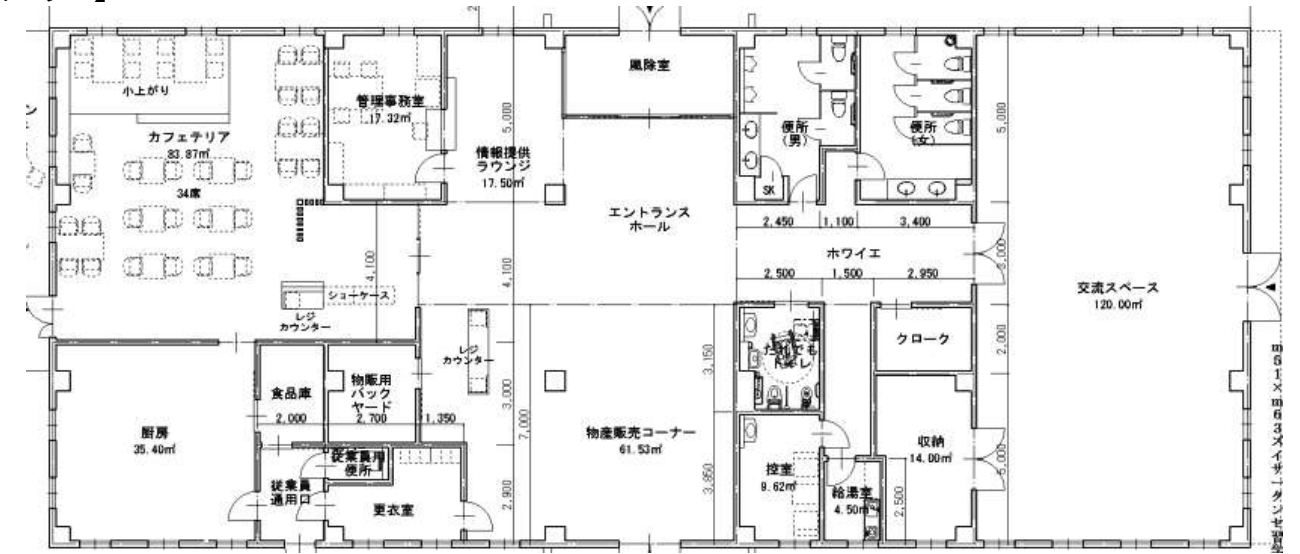
建物名称候補：(例：北の防人大湊壺番館、センターハウス62、北の防人大湊交流館、北の防人大湊の館(やかた)、北の防人大湊館、開放館、水源地ホール)

- 建物コンセプト：明治・大正ロマンを感じさせた、落ち着きある市民・観光交流の拠点施設
- 活用方法
  - ① 市民・観光交流機能と都市公園施設として自然学習機能及び便益機能を有する複合施設とします。
    - 一階部分は観光情報、観光地としてのメイン施設とし「北の防人大湊」を発信し、市民・観光交流の増進を期待したスペースを設置し、訪れる方へ憩いの空間を提供します。また、ここにしかないもの、ここでしか食べられないものの提供を目指します。
- 外観について
  - ① 大湊に存在した「大湊要港部庁舎」をイメージし、屋根の色は明治、大正期の洋館に使用されていた銅板の緑青をイメージした風格ある緑青色とします。
- 内装について：明治・大正期をイメージさせる雰囲気演出し、室内装飾や床材のフローリングやカーペットは質感と重厚感のあるものとします。
- 外構について
 

【ナチュラルな雰囲気】  
ガス灯風のデザインと白熱灯色の光、自然を活かした優しさを創出します。



【平面プラン】



- 【物産販売コーナー】  
北の防人オリジナル商品や大湊海上自衛隊との連携商品、地域特産物の販売所とします。
- 【カフェ】  
北の防人大湊でのゆったりと憩える空間として創出し、子供連れの主婦方でも安心して憩える場にします。
- 【交流スペース】  
会議室や会食・パーティー会場として市民・観光客の交流スペースとして開放します。
- 【情報提供ラウンジ】  
Wi-Fi 通信等のインターネット環境の充実を図り、来客者の必要とする情報及び、観光、北の防人大湊の PR 情報を提供します。

【外観イメージ】



大湊にあった 大湊要港部庁舎

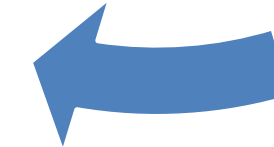
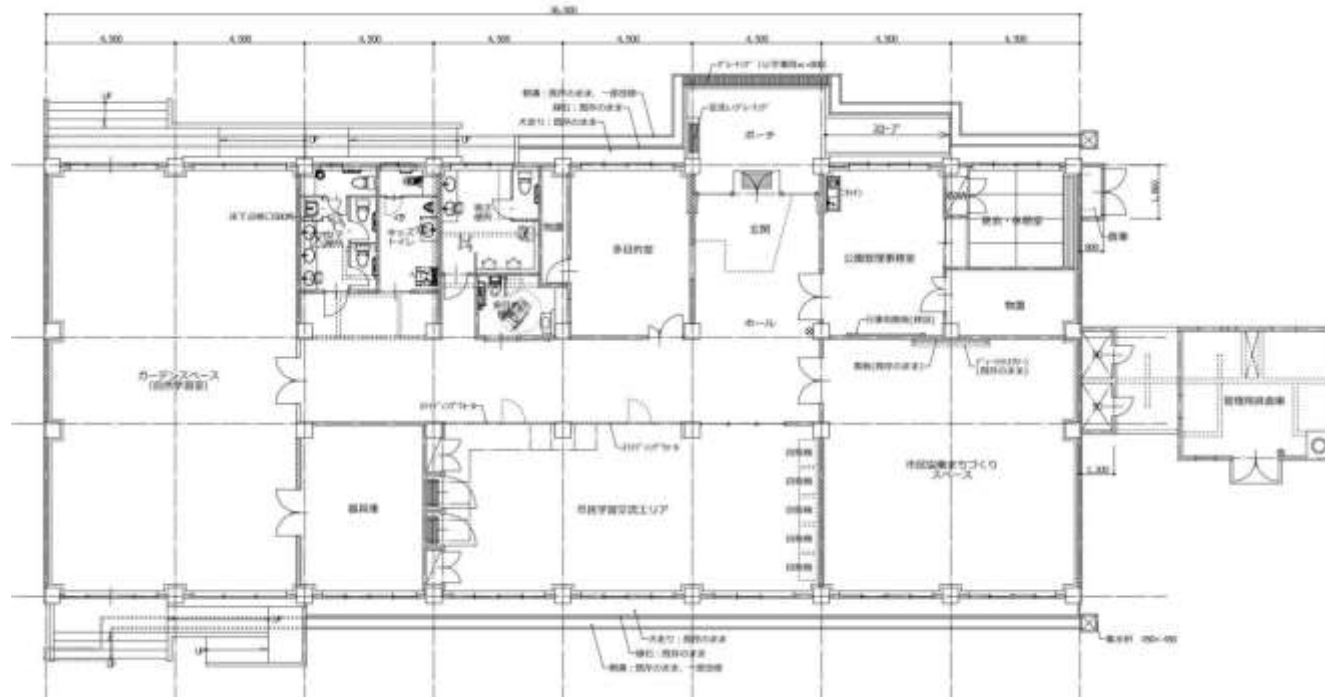


# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5-1-2 既存ストックの再生 学習センター

建物名称候補：(例：水源池管理棟、開放館、水源地ホール、みどりの学習センター)

- 建物コンセプト：花とみどりのまちづくりを推進する建物
- 活用方法：水源池公園の管理の拠点施設とする管理棟として活用し、さらに、花とみどり豊かな北の防人大湊を象徴させる場(例えば、植樹イベントにおけるスタート地点、レクチャーの場として活用など)として、育苗から植樹までのプロセスを市民や訪れた方々が体験でき、自然環境への理解を深め、植物環境の教授をはかれる場として提供する。また、育てた植物たちが市民と行政を繋ぎ合わせるトランスミッションの役割を担い、『緑のまち育て』の拠点施設として大きな解放感のある市民・観光客がいつでも利用できるフリースペースとして活用します。
- 外観について：コンセプトに合わせた外観にリノベーションします。
- 内装について：解放的な空間とし、風通しのよいクリーンなイメージを目指します。
- 外構について：観光交流センターとの連続性を考慮しながら、ナチュラルな雰囲気をめざします。



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5-1-3 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(市収蔵庫)

建物名称候補:(例:史学館、伝承館)

### ➤ 建物コンセプト:創作活動による市民交流拡大の場

市民や観光客向けに北の防人大湊に関する歴史、文化等を学習する場、展示イベントも行える場として活用します。また、市民団体や下北で活動中の若手アーティストのため創作活動の場として提供し、アーティストと市民との交流の拡大を図り新たな文化の創出を目指します。

### ➤ 活用方法

#### ① 歴史学習スペース・展示スペース

大湊の町・水源池公園の歴史の展示や、市民による創作活動の成果の展示、児童絵画展などの企画展示をおこなえるスペース

#### ② 映像展示スペース

大湊の歴史や行事に関する映像や、映像作品の上映をおこなうスペース

#### ③ チャレンジスペース

市民・アーティストによる創作活動スペース

### ➤ 外観について:石造りの外観を活かしながら、現在はコンクリートのより塞がれている開口部は木製建具にて復旧し、採光を室内へ取り込みます。また、屋根はカラーガルバリウム鋼板にて旧女子寮と同じで色で葺き替えます。

### ➤ 内装について

内部は鉄骨補強を行い、補強部材の間から石積み壁を見ることができ、床張りは地元建材を使用し、展示イベントを考慮し、展示スペースへの直光は避けつつ、間接照明器具を活用した明るい雰囲気を出します。

### ➤ 外構について

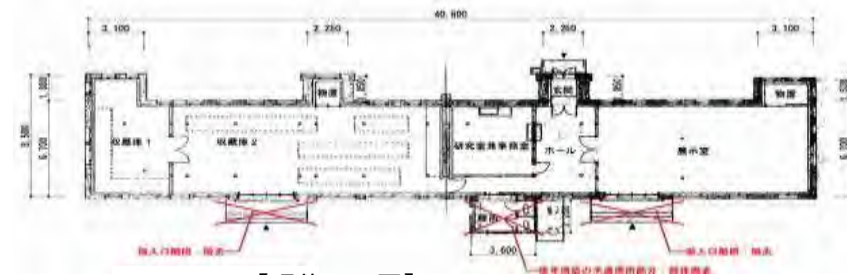
① 南側には、市民協働ガーデンスペースを設け、周辺の景観に配慮します。

② 既存の樹木は極力生かし、当時の景観を再現します。

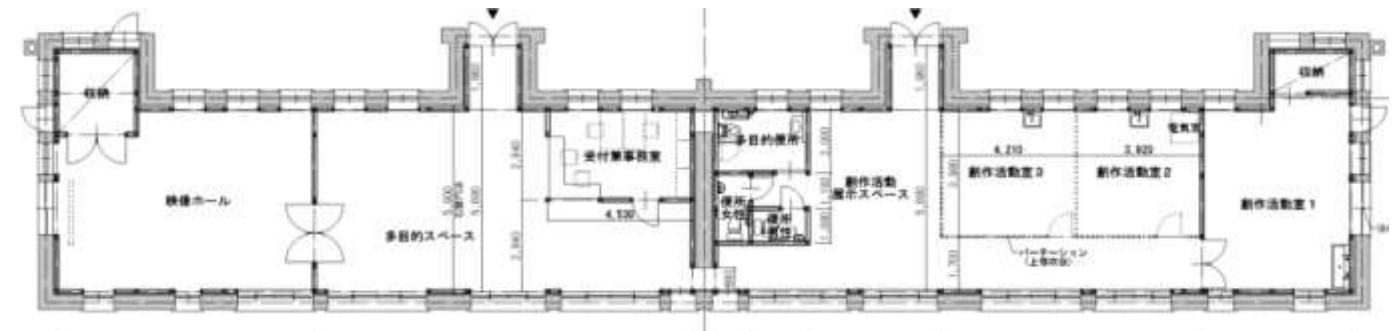
③ 湧水である金剛水の利用を目指しながら、水盤を設置します。



## 【改修後プラン】



【現状平面図】



【現在の市収蔵庫】

## 【立面イメージ】



開口閉鎖部分を撤去後 木製建具にて復旧

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5-1-4 既存ストックの再生 石造り士官宿舎(旧大湊高校女子寮)

建物名称候補：(例：北の防人大湊式番館、海が見える市民館、海に望む市民館略して海望館、湧水館、防人館)

- 建物コンセプト：石造建造物を活かした歴史の伝承と市民交流活動の場
- 活用方法

### ① 旧士官宿舎スペース

明治、大正時代をテーマとした当時の生活環境を復元し、懐かしい雰囲気を経験できるスペースを創出し、建築構造的に貴重な小屋組や間取りを後生に伝えていく場所とします。また、通常時は和室を活用の場とする市民利用の場(例：生け花、和室ふるまいマナー講座、和室ヨガ等)として開放します。

### ② 多目的ホール

現在、学習センターにおいて行われている市民活動(舞・社交ダンスの場など)を引き続き行える場とし利用し、地域住民の憩いの場として活用します。

### ③ 二次避難施設としての活用

女子寮の外にある小屋は、防災倉庫とし、災害時は、二次避難場所としての活用を図り、地域の安全安心につなげます。

### ➤ 外観について

夜間は石造りの外壁をライトアップし、外壁を観光地の魅カスポットとして演出します。

### 内装について：

海側の窓や採光スペースを大きくし、開放的なある光にあふれるスペースとし、また、レトロな雰囲気をもち合わせた整備を目指します。

### ➤ 外構について：

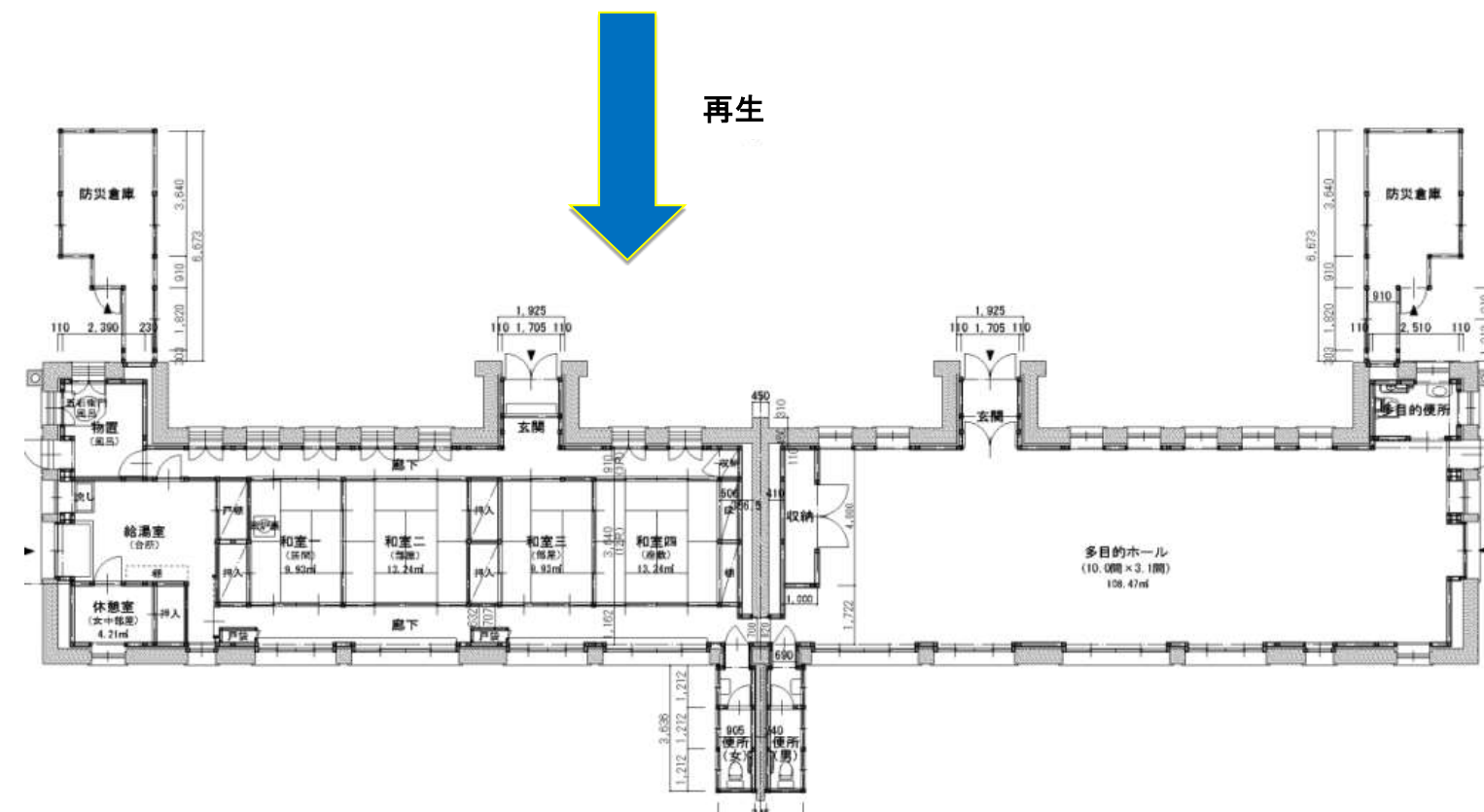
- ② 明治・大正期を彷彿させる街灯を設置し、建物をライトアップします。
- ③ 南側には、市民協働ガーデンスペースを設け、周辺の景観に配慮します。



～ライトアップイメージ～



【現在の旧大湊高校女子寮】



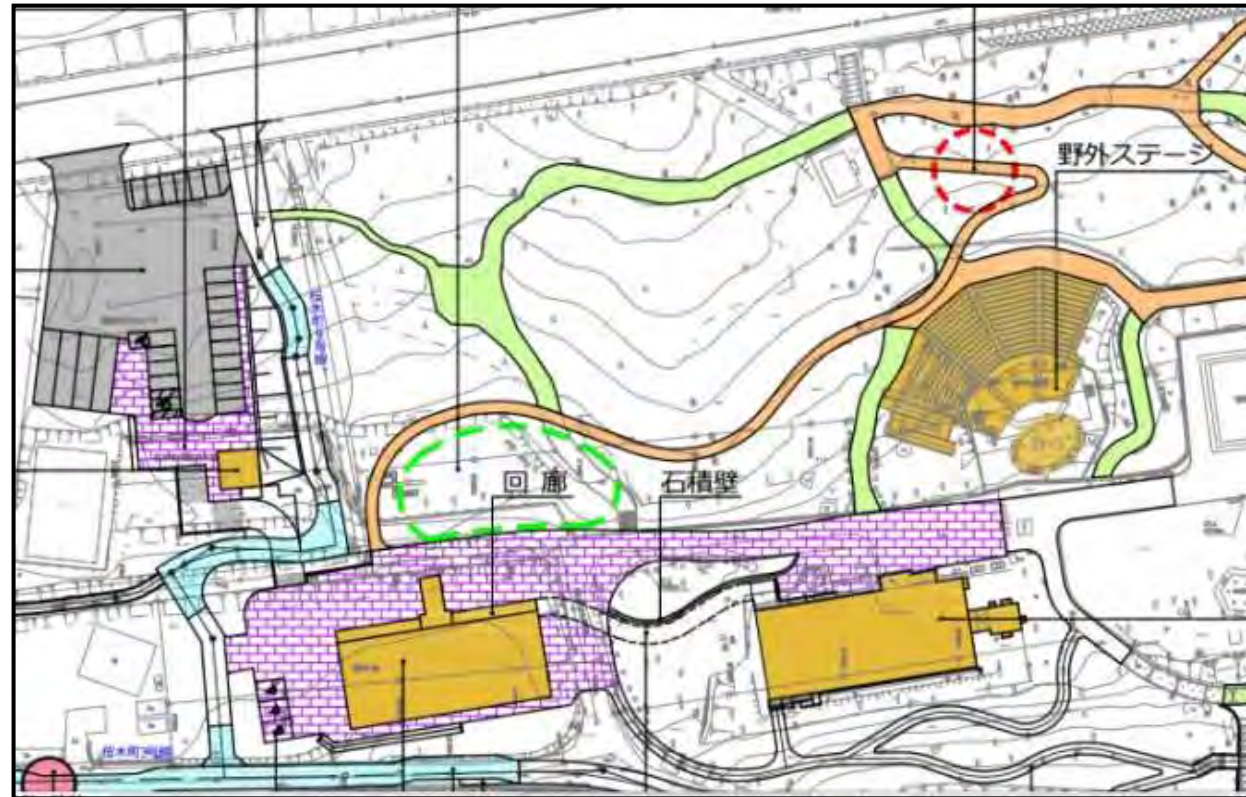
【現在の旧大湊高校女子寮の内部】

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5-2 外構

### 5-2-1 観光交流センター周辺

- 現在は学習センター西側にある道路を市道桜木町 9 号線として観光交流センター外構の西側に配置することにより、観光交流センター周辺を広い一体的な広場として整備します。広場はレトロな雰囲気を感じさせる舗装材や街灯を用い、市民が協働で植栽、管理していく花壇を「市民ふれあいガーデン」として整備します。



### 5-2-2 石造り士官宿舎周辺

- 北側建物前にある杉を車道や歩道の交通の障害とならない程度に残し、市道桜木町 5 号線の駐車場のポケットパークと調和した舗装材、ベンチ・テーブル、車止め等を整備します。敷地東側は、バス駐車場に接する部分で、相対する旧大湊高校女子寮と舗装材等を合わせ、一体的な整備とします。南側は、芝生の築山にて修景整備し、草花の花壇や園路を配置します。



市民ふれあいガーデン



ナチュラルガーデン



街灯



舗装とベンチ



芝生と花壇



築山





# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 5-2-3 北の防人大湊シンボルタワー 展望台

建物名称候補：(未定)

### ➤ 活用方法

北の防人大湊と芦崎に碇泊する海上自衛隊の護衛艦を、一望出来るビュースポットとして、また北の防人大湊のシンボルタワーの役目を担い、訪れた方へ景観的魅力を提供します。

### ➤ 外観について

- ① 駐車場側はほぼガラス面の構造とし内部の人の動きを見ることができ、興味を引きつけ展望台への呼び込みを行います。
- ② 屋根形状を陸屋根とし落雪の少ない形状とし、冬期間の安全性にも配慮します。
- ③ 大正ロマン街道に面した東側には大時計を設置し、大正ロマン街道と調和を図りつつ、よりシンボル性の高い施設とします。

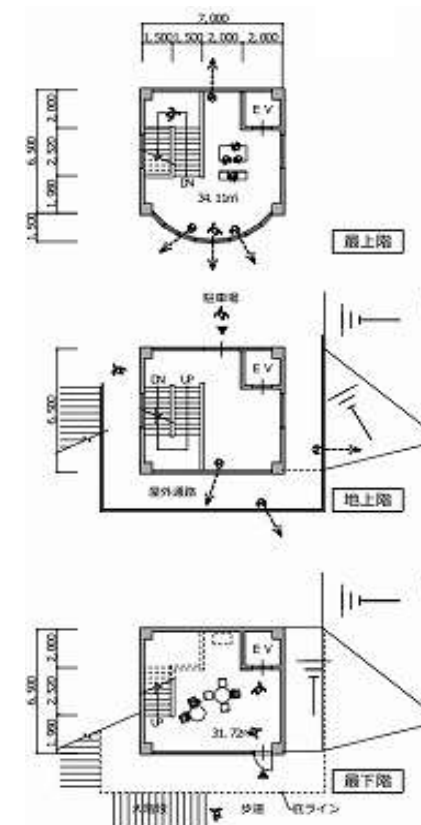
### ➤ 内装について

- ① 展望スペース部分以外にも、ベンチやテーブルを設置し、休憩スペースとしても活用出来るようにします。
- ② エレベーターを設置し、足の不自由な方や、小さい子供、高齢者の方々に配慮した計画とし、誰もが北の防人大湊独自の景観を楽しめ、憩える空間にします。

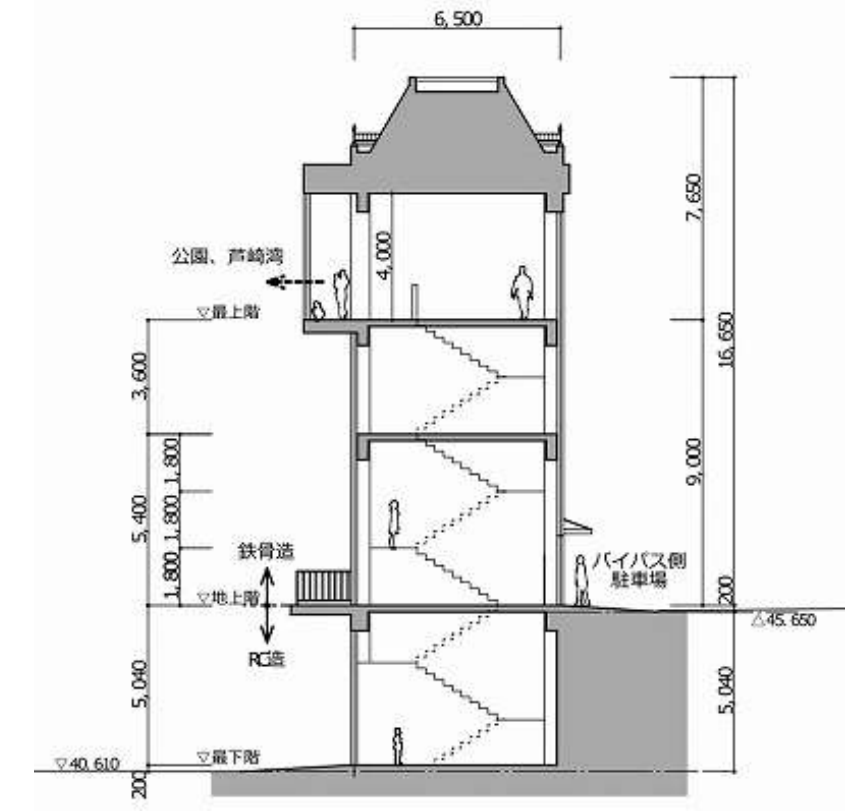
### ➤ 外構について

ガラス張りの展望台のため、夜間は展望台自体がイルミネーションオブジェクトとなります。また、クリスマスやイルミネーションイベント時には、隣接する大階段のライトアップとともに、幻想的な空間を創出します。

【イルミネーションイメージ】



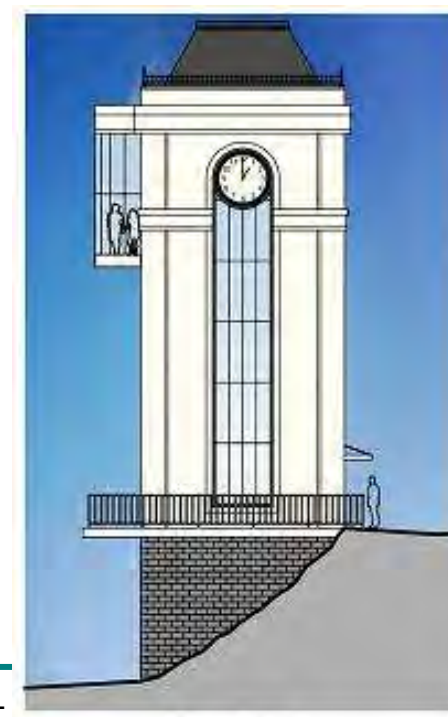
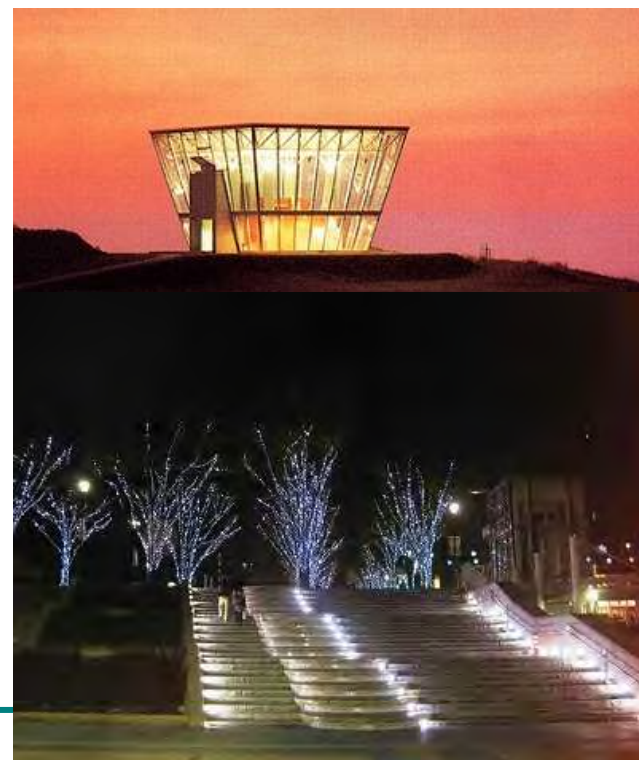
【平面図】



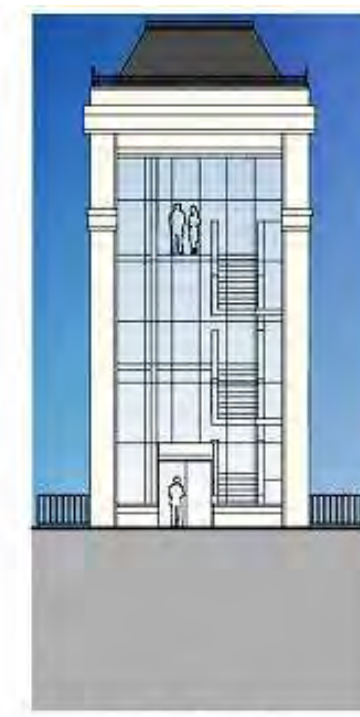
【断面図】



市道桜木町9号線駐車場・展望台 配置計画



東西側から



駐車場側から



【立面図】

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

支柱をステージに差し込み、イベント用途に合わせた可動バック壁を設置する。

【外観・内観イメージ】

## 5-3 公園

### 5-3-1 水源池公園の再生

#### ➤ 再生方法

1. 水源池公園の園路をバリアフリー園路と自然園路に区分し、バリアフリー園路は、最急勾配 1/12 以下に縦断計画を修正して勾配を緩和するか、迂回路を設けることとします。
2. 公園内の良い景色を見ることが出来る場所をフォトスポットとして案内板で表示し、利用者が立ち止まる工夫として小憩スペースを設けます。
3. 南側の藤棚近くのトイレは撤去することとし、公園管理事務所近くのトイレは現在の場所より南側に移動し、新設することとします。また、水源池公園駐車場付近にトイレを新設します。
4. 市道宇田水源池線行き止まりのところにある、既存公園入口の階段はコンクリートが剥離し、タイルが欠損していることから、全面改修し、水源池公園正面入口にふさわしい歩きやすい整備を行います。
5. 宇田川下流部に利用者が水に親しめるように階段護岸を整備するとともに、それに合わせて小憩スペースも確保します。
6. 公園遊具は、複合型遊具や健康遊具の配置により、誰もが楽しめる環境を整備します。
7. 野外ステージは、より使われやすい施設への改修、バリアフリー化を行います。

#### 【野外ステージ改修】

新たなステージは高さを抑えてスロープ等でも登れるようにし、東西南北どちらからでもステージを見ることが出来るように固定のバック壁は設けない。

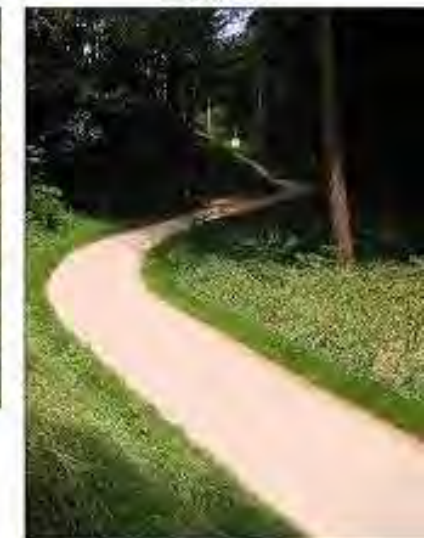


計画平面図



バリアフリー園路

自然園路



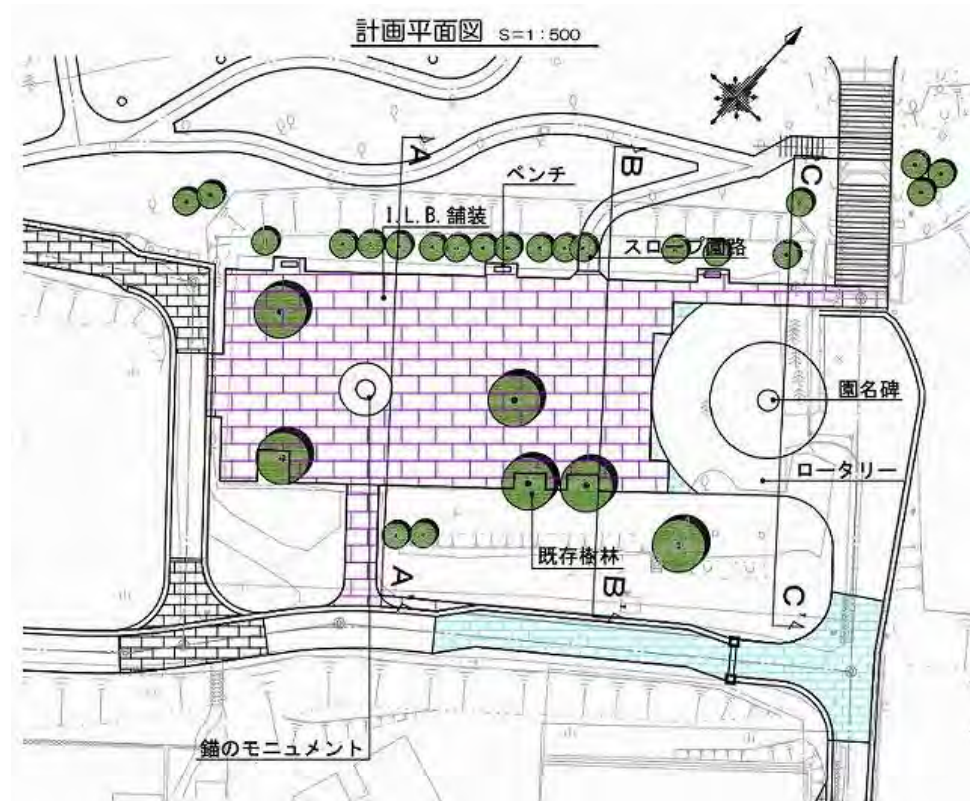
# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

【断面イメージ図】

## 5-4 ポケットパーク

### 5-4-1 北の防人大湊エントランスポケットパーク

- 整備の方針: 水源池公園正面の階段入り口手前、市道宇田水源池線を直進してきた車輛が回転出来るロータリーを設け、近接した広場に錨のモニュメントを置き、舗装主体のエントランスポケットパークを整備します。ポケットパークから観光交流センターへのスロープを設置するとともに、小憩できるベンチを設置し、敷地内の樹木は出来る限り伐採しないで、利用する計画とします。



【計画平面図】

### 5-4-2 大湊基地展望台ポケットパーク

- 整備の方向性: 観光交流センター北側の高台の一角に展望台を設置し、新たな眺望点とするポケットパークを整備します。展望台前には敷地の高低差を解消する大階段を整備します。大階段は展望台とともに海への眺望点となり、展望台を修景し、より展望台を高く見せる施設となります。



【計画平面図】

石造建物と大階段



大階段ライトアップ



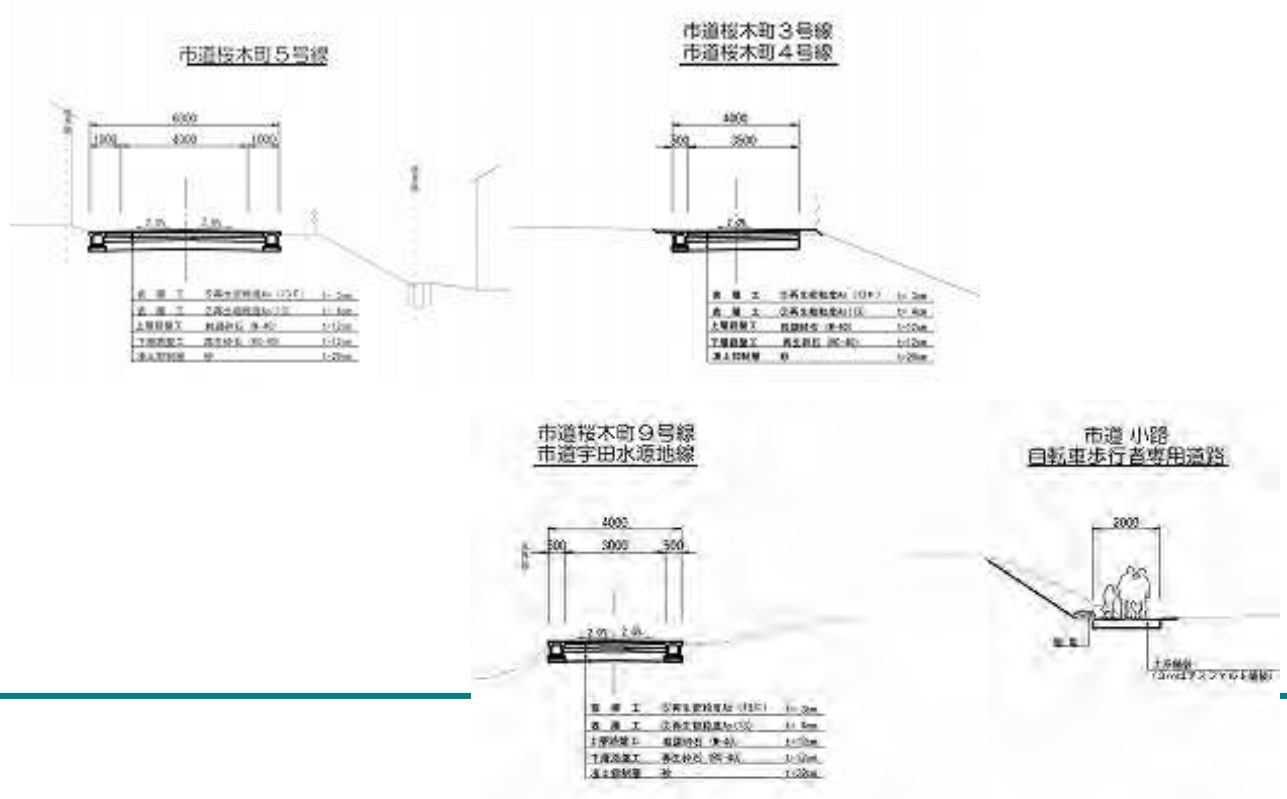
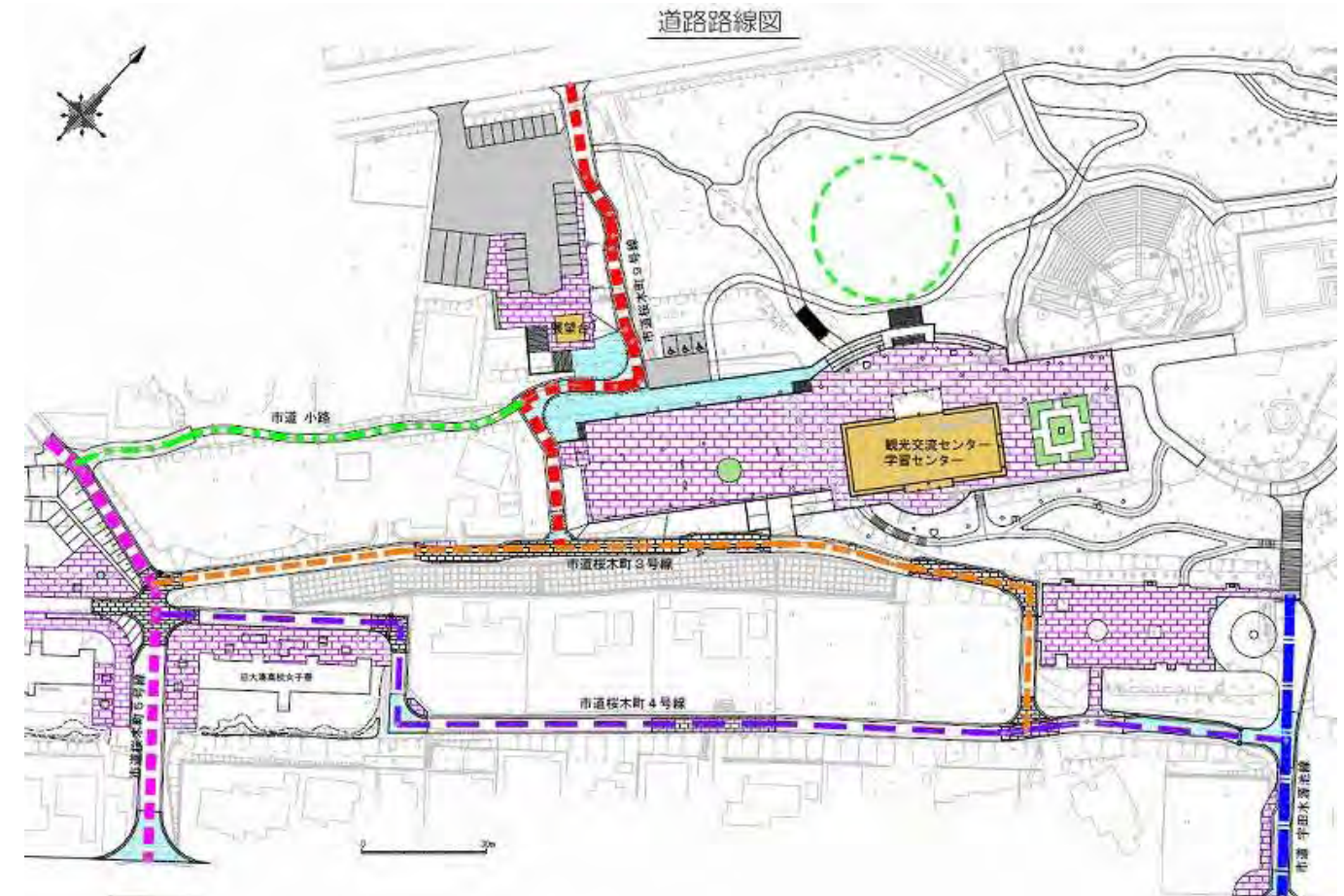
【大階段イメージ】



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

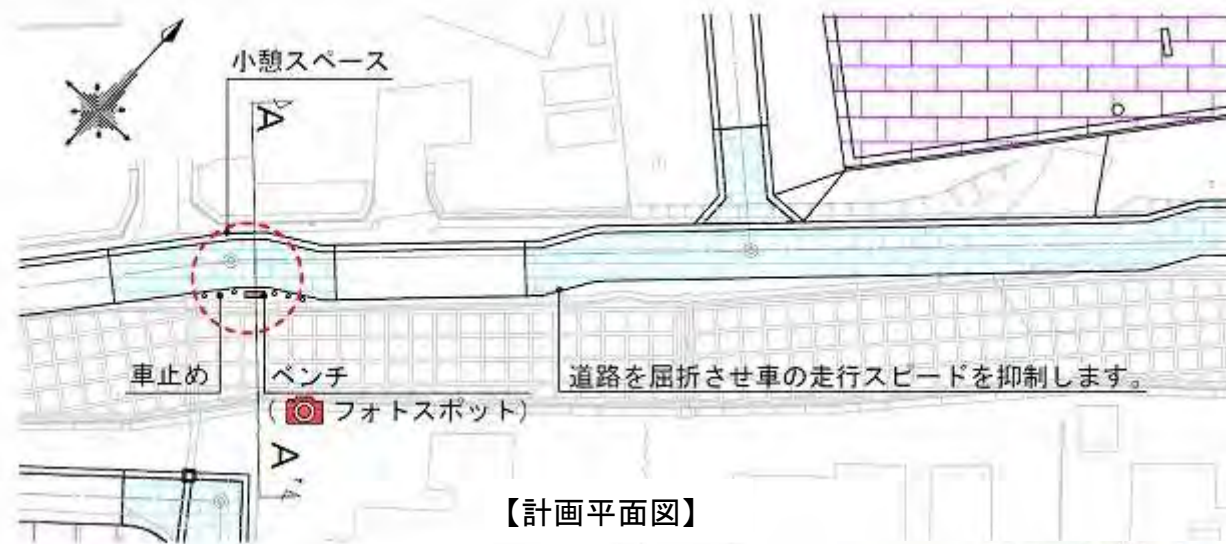
## 5-5 道路

- 市道 宇田水源地線
  - ◇ 行き止まり部にはロータリーを整備し、入口部には歩行者の滞留拠点や車輛のすれ違いが出来る待機所を整備します。
- 市道 桜木町 3 号線、4 号線
  - ◇ 要所をクランク状に屈曲させ、車両走行スピードを歩行者の歩くスピードに近づける道路整備とします。また、交差点部にブロック系の舗装を行い、速度を抑制するとともに、運転者や歩行者の注意を喚起します。
- 市道 桜木町 5 号線
  - ◇ バスの停車帯を確保しつつ、収蔵庫、旧大湊高校女子寮の間の区間は幅員 6.0mの道路とし、市道桜木町 3 号線、4 号線の交差点より北側では幅員 4.0mの道路として整備します。
- 市道 桜木町 9 号線
  - ◇ 市道 桜木町 9 号線 観光交流センターの周りに広い面積の広場を整備するために、観光交流センター西側の部分で、市道 桜木町 3 号線に接道させ、そこから北側にある国道 338 号 大湊バイパスに接道します。  
大湊バイパスとの接道付近には市道 桜木町 9 号線駐車場への出入口を設けます。本路線は市道桜木町 9 号線駐車場と水源池公園を分断する位置にあるため、速度抑制するために歩行者が横断する園路との交差部には、ブロック系舗装を敷設する等して、速度抑制や運転手への注意喚起を促します。
- 市道 小路(こみち)
  - ◇ 市道桜木町 9 号線交差部より市道桜木町 5 号線交差部までに幅員 2.0mの歩道を整備します。歩道は緩やかなスラロームとし、部分的に小憩スペースや植栽を行い、歩きたくなる演出を行います。また、市道桜木町 5 号線交差付近よりの 30m区間は宅地のための道路となっていることから、幅員 4.0mの道路として整備します。



# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## ■市道桜木町3号線



コミュニティ道路-1



コミュニティ道路-2



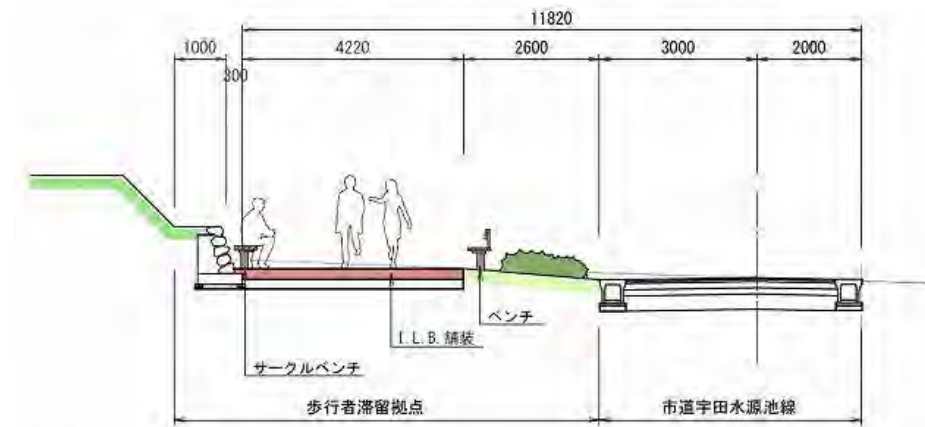
ベンチ



## ■市道宇田水源地線 歩行者滞留拠点



【計画平面図】



【A - A' 計画断面図】

石積とサークルベンチ



サークルベンチ



【A - A' 計画断面図】

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

【園名碑】

【サークルベンチイメージ】

## 5-6 駐車場

### 市道 桜木町 5 号線

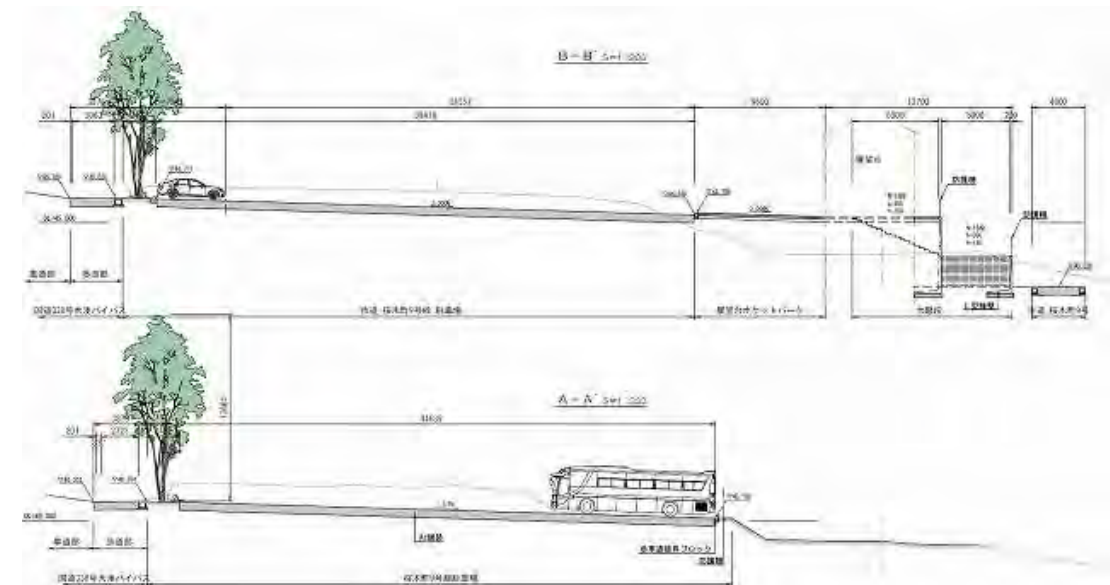
現状の地形を変えずに、収蔵庫、女子寮利用者の駐車場を配置します。



金剛水の流量を確保したいところです。

### 市道 桜木町 9 号線駐車場

大型車を駐車できるように、国道 338 号大湊バイパスの高さに合わせた駐車場を整備します。駐車場周りは周囲との段差解消のための擁壁を設置し、駐車場東側には市道桜木町 9 号線への出入口、北側には大湊バイパスへの出入口を設けます。また、南側の一角には大湊基地展望ポケットパークを設け、大階段によって、市道小路や中央広場に歩行者がアクセスできるように整備します。



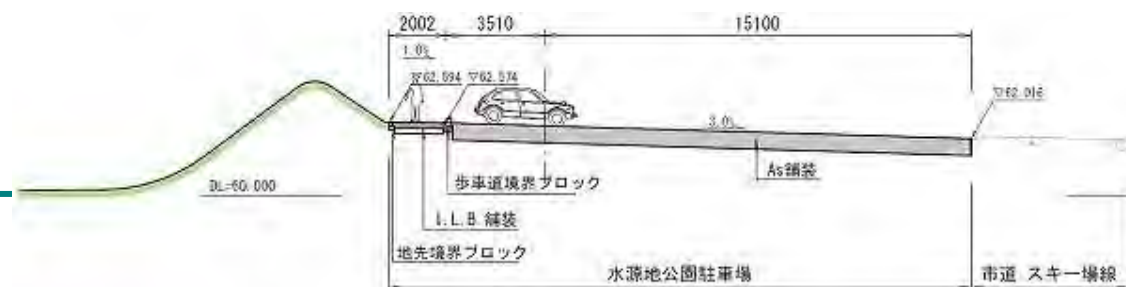
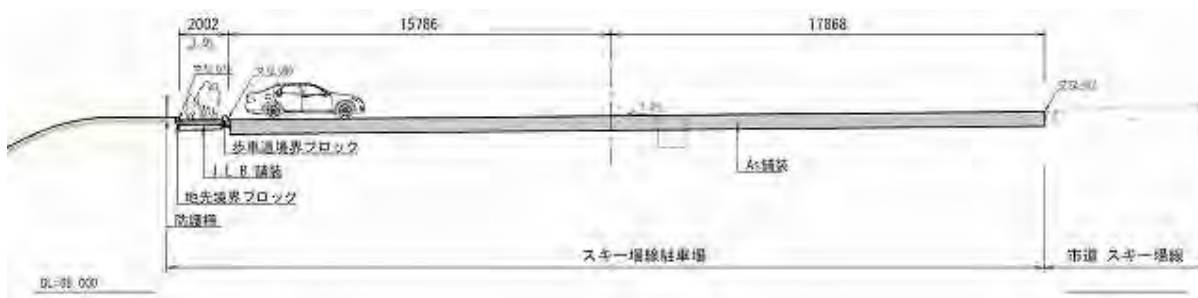
# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

➤ 市道 スキー場線駐車場

現在の敷地形状に合わせ、バスも駐車できる駐車場を整備します。市道スキー場線駐車場より水源池駐車場に利用者がアクセスできるように階段等を整備します。

➤ 水源池公園駐車場

現在利用している敷地形状に合わせ、小型車のための駐車場を整備します。水源池公園の園路に利用者がアクセスできるように階段園路のほか、バリアフリー園路も整備します。



## 5-7 案内情報板など

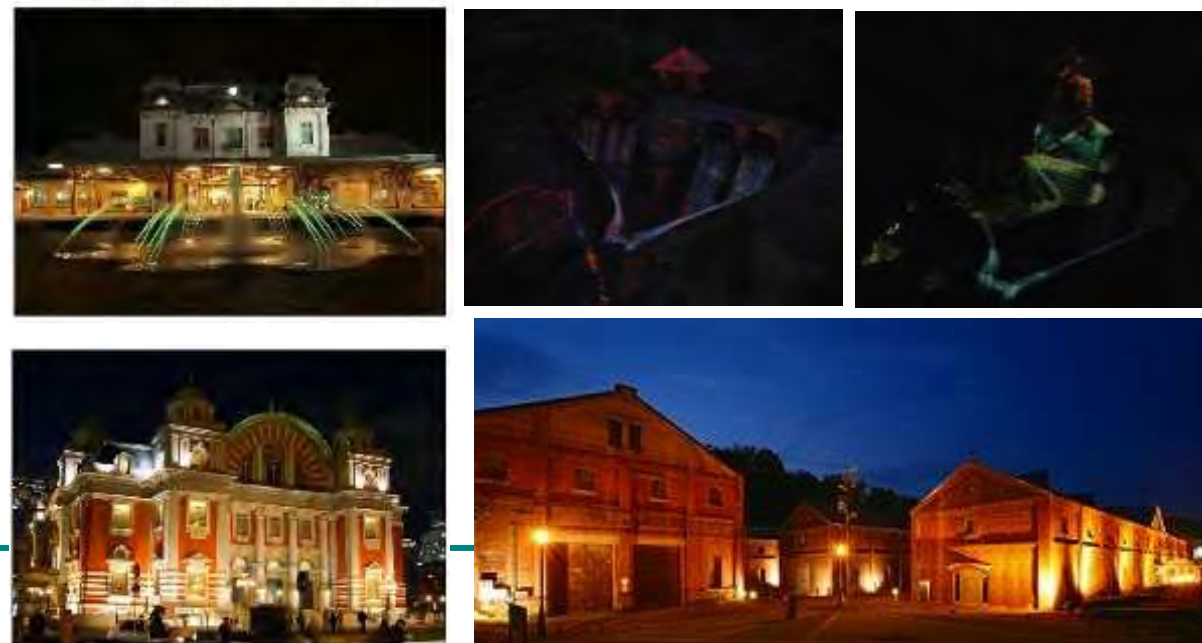
- 案内サイン
  - 施設名および距離を表示することにより、市民・観光客の周遊時間の調整に役立っています。デザインは、公園内、水源池公園周辺ともに共通デザイン化を図りながら、北の防人大湊の一体感づくりに役立て、景観づくりにも役立っています。また、観光地北の防人大湊以外の場所（大湊駅周辺など）でも、サイン等の統一化を図り、さらに大湊のまちづくりを推進させます。
- 各施設案内版
  - 重厚感のある説明版を設置し、歴史を後世に伝えます。
- 国道沿い観光案内標識
  - 車での来訪者へ、北の防人大湊へ近づき始めたことを知らせる共通デザインの案内標識を国道沿いに設置します。

むつ市イメージキャラクター  
ムッシュ・ムチュラン I 世  
マダム・ムチュリー



## 5-8 ライトアップでの夜の景観づくり

- 建築物、国指定重要文化財、園路、道路、樹木などへの効果的なライトアップやイルミネーションなどの光の演出により、レトロでロマンチックな雰囲気を出し、夜の景観まちづくりを推進します。また、灯具については LED 等を採用し、維持管理費を軽減します。



## 6. 四季を感じる景観づくり

### 6-1 花とみどりに囲まれた景観づくり・まちづくり

- 現在の水源池公園も桜やつつじにより彩（いろどり）を感じることができる環境ですが、より愛着が増すように、市民と協働での植樹や維持管理を行います。また、沈澄池東側のコナラ等の雑木林を自然観察の場として、市民・観光客のコミュニケーションツールとして活用する市民の森として目指し、協働による植樹事業、維持管理を展開します。

#### ① 桜

- ◇ その昔、一家に一本の桜が植えられ、そのことから桜木町という名が冠されるなどの歴史をもつ旧大湊水源地周辺でした。そこで、自然学習体験センターをイベント起点としながら、その維持管理が難しいソメイヨシノなどの植樹について、苗木を市で手配し、それを市民が購入し、市民の手によって、水源池公園内や、国道沿いの桜トンネル化、都市再生整備計画の「北の防人大湊地区」内の公共用地や地区計画などで確保される公開空地などに植樹者の銘板が付された植樹を施し、まさしく、市民による、市民のための、市民の桜で、すばらしいまち大湊のまちづくりを推進しようとするものです。

#### ② つつじ

- ◇ 現在、水源池公園には、時期がくると素敵に咲き乱れるつつじがあります。そこで、公園工事での植栽や市民協働植樹イベントなどにより、宇田川両岸につつじを配置し、河川景観を引き立たせるなど、つつじの咲き乱れる範囲の拡大、高密度化を目指し、新たな観光スポットの創出、咲いたつつじを活かしたイベント（つつじまつり）の開催を展開します。

#### ③ バラ・ハーブ・ラベンダーなどの花

- ◇ 楽しめる花とみどりの空間を、市民協働事業で次々に創出し、維持管理します。

#### ④ 釜臥山スキー場 ゲレンデ

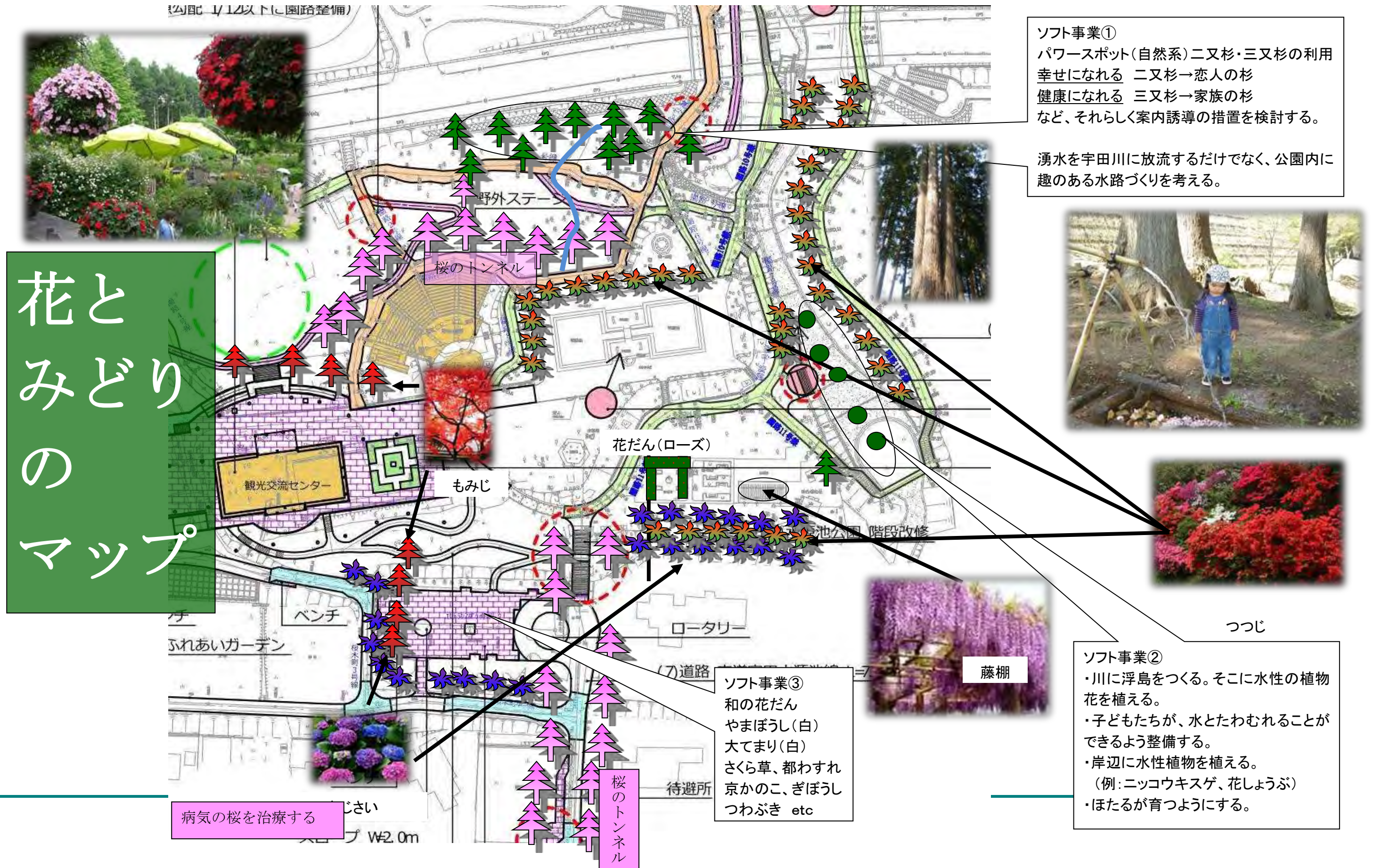
- ◇ 花を高密度に植樹することにより、自然豊かな大湊に彩を添えようとするもので、これを市民の手により直接、種子や苗の植樹活動を通して、継続した花景観づくり・まちづくりを推進しようとするものです。

市民と協働の植樹





北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914



花とみどりのマップ

ソフト事業①  
 パワースポット(自然系)ニ又杉・三又杉の利用  
 幸せになれる ニ又杉→恋人の杉  
 健康になれる 三又杉→家族の杉  
 など、それらしく案内誘導の措置を検討する。

湧水を宇田川に放流するだけでなく、公園内に趣のある水路づくりを考える。



つつじ

ソフト事業②  
 ・川に浮島をつくる。そこに水性の植物花を植える。  
 ・子どもたちが、水とたわむれることができるよう整備する。  
 ・岸辺に水性植物を植える。  
 (例:ニッコウキスゲ、花しょうぶ)  
 ・ほたるが育つようにする。



藤棚

ソフト事業③  
 和の花だん  
 やまぼうし(白)  
 大てまり(白)  
 さくら草、都わすれ  
 京かのこ、ぎぼうし  
 つわぶき etc

病気の桜を治療する

桜のトンネル

北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

**花とみどりのマップ**

(6)大湊基地展望ポケットパーク

(3)観光交流センター

ソフト事業⑤  
子供がよるこぶ空間づくり(大人も)

ソフト事業④  
小路の両脇には低木・草花を植える。  
(ナチュラルガーデン風)

ソフト事業⑧  
杉の間をすべり台！  
船の遊具  
ピョンピョン飛ぶ遊具

ソフト事業⑦  
建物、外構  
大正ロマンを彷彿とさせるレトロ調にする。  
敷地内には寄せ植、ハンギングと  
昭和初期と現代とのコラボ

ソフト事業⑥  
I. のり部分を利用した自然と共生した宿根草を植える。  
(ナチュラルガーデン風)  
II. 市民から宿根草を提供してもらおう。又、ボランティアで管理してもらおう。

小路の雰囲気

ホスタ

白樺

ラベンダー

スモークツリー

ユーフォルビア

観光交流センター

旧大湊高校女子寮

寄せ植え

ハンギング

ベンチ

コメント(錨)

ロープ W2.0m

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

ソフト事業⑩  
 ☆コミュニティバスの運行  
 ・ワンコイン（1区間）  
 ・土・日・特定日限定  
 ・運行コース  
 田名部～下北駅～大湊駅  
 ～水源池～桜木町

## 花とみどりのマップ

管理用倉庫

絶景ポイント  
 （エメラルドグリーン  
 の池に建物が写り、  
 絶景）

ソフト事業⑨  
 ※山野草ゾーン・すでにある山野草を増やす。  
 （車葉草、○輪草、スマレ、エンレン草）  
 ・群植させる。又、色を統一させグラデーションに！！（白・紫・黄・赤）  
 ・みんなの林化（市民から提供してもらう）



ソフト事業⑩  
 ・池に名前をつける  
 ・池の色がエメラルドグリーンなので、ここもパワースポットにする。

ソフト事業⑪  
 秋には、どんぐり拾い  
 「小鳥のおうち」を設置



(8) 駐車 A=1, 20

(8) 駐車場 水源池公園駐車場 A=500m

(4) 水源池公園 バリアフリー園路

(4) 水源池公園 自然園路

(4) 水源池公園 フォトスポット (ベンチ・案内表示)

(4) 水源池公園 バリアフリー園路 (最急勾配 1/12以下に園路整備)

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 7. イベント・にぎわいづくり

### 7-1 海上自衛隊施設見学ツアーの実施

観光交流センターと海上自衛隊の連携により、海上自衛隊施設の見学機会を増やします。



### 7-2 冬のイベントの実施

#### 1. カマフセスノーフェス

冬季における市民・観光客を巻き込んだイベントの開催が、むつ市における一つの課題です。そこで、釜臥山スキー場、海上自衛隊、観光交流センターを有する北の防人大湊を活かし、新たな冬のイベントを検討します。（例、スノースポーツ大会、雪像コンテスト、雪灯籠ライトアップ等）

#### 2. 釜臥山スキー場でっぺん夜景ツアー

現在、釜臥山スキー場は、午後 4 時以降に頂上へは登ることができず、もっと夜景を一望できるポイントからの展望ができないため、夜景が一望できるツアーを企画する。

#### 3. かんじきツアー・角巻・ほっかむりツアー

冬期期間中、水源池公園周辺のレトロな散策ルートを、かんじきを履き角巻やほっかむりをして歩き、タイムスリップツアーを企画し、散策後は冷えた体を北の防人大湊オリジナル鍋や関連商品で温める食べ歩きタイムスリップツアーを実施する。



### 7-3 四季に合わせた景観・にぎわいづくり

#### ● 年間の景観づくり

##### ①4月下旬～5月上旬

- ・桜
- ・ライトアップ（建造物、桜）
- ・艦船点灯装飾

##### ②5月下旬～6月上旬

- ・つつじ
- ・ライトアップ（建造物、つつじ）
- ・艦船点灯装飾

##### ③6月中旬～9月中旬

- ・バラとハーブとラベンダー
- ・ライトアップ（建造物）
- ・艦船点灯装飾

##### ④10月下旬～11月末

- ・紅葉
- ・ライトアップ（建造物、紅葉）
- ・艦船点灯装飾

##### ⑤12月初旬～12月下旬

- ・サンタランド
- ・建造物・樹木のイルミネーション（クリスマスバージョン）
- ・艦船点灯装飾

##### ⑥1月下旬～2月末

- ・カマフセスノーフェス・雪景色
- ・建造物・樹木のイルミネーション
- ・艦船点灯装飾

#### ● 年間の交流イベント

##### ①春 4月～6月

- ・桜まつり
- ・つつじまつり
- ・海軍まつり・体験航海

##### ②夏 7月～8月

- ・釜臥山清掃登山BBQ
- ・バラ・ハーブ・ラベンダーフェス

##### ③秋 9月～11月

- ・紅葉まつり
- ・ワインまつり
- ・ちびっこクロスカントリー

##### ④冬 12月～2月

- ・サンタランド
- ・カマフセスノーフェス
- ・雪景色まつり・かんじきスノーツアー

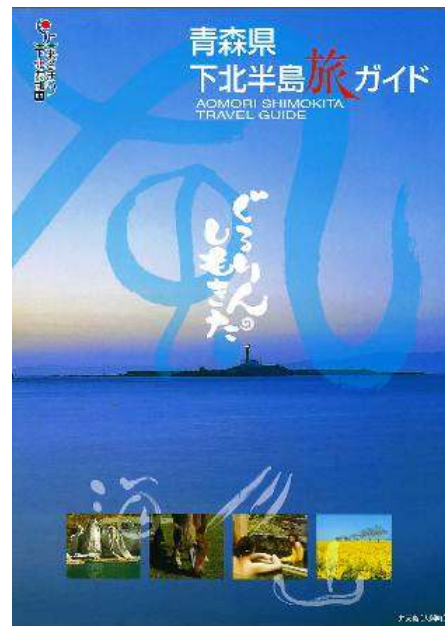
## 8. ソフト事業の展開

### 8-1 景観ルール策定

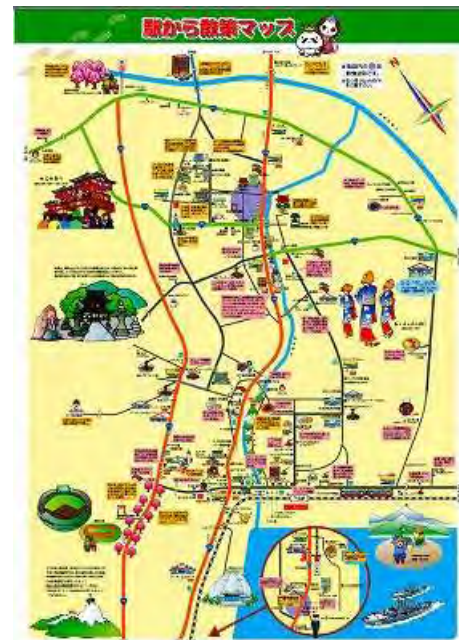
- 都市再生整備計画事業の「北の防人大湊地区」における、市民・企業・行政などによる今後の景観づくりのための、景観ルールを市民協働で策定します。
  - むつ市は現在、景観法による景観行政団体ではありませんが、今回、この景観ルールを策定することで、法的拘束力はありませんが、北の防人大湊での景観づくりを行うことにより、継続したまちづくりを展開し、すばらしいまち大湊への発展を目指します。また、むつ市が景観行政団体となる時の先導的役割を担います。

### 8-2 観光案内パンフレット作成

- 都市再生整備計画事業において、新観光地「北の防人大湊」への、来訪者を増やすための、案内パンフレットを整備完了年度時（H27 年度）に作成します。マップの内容やデザインについてもより多くの市民・専門家意見を募り北の防人大湊らしさを強調した案内パンフレットの作成を目指します。



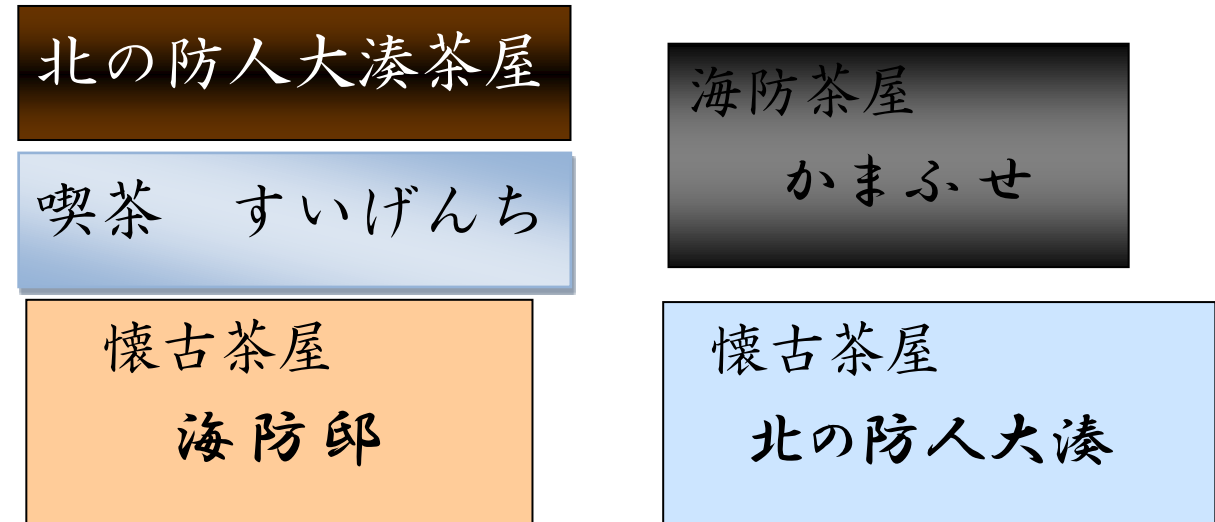
青森県下北半島旅ガイド



駅から散策ガイド

### 8-3 オープンカフェの社会実験

- 都市再生整備計画事業において、観光交流センターの完成後（予定H25 年度～）から、便益機能の軽食・喫茶機能運営のためのデータ収集を目的とする社会実験（仕入れ量の調整、人員配置）を行い、その後の効果的な運営を探ります。



軽食喫茶看板イメージ（案）



【参考資料：名古屋市HP 堀川オープンカフェ】  
<http://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000017483.html>

【参考資料：広島市HP 京橋川オープンカフェ】  
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000000/1111583774214/index.html>



オープンカフェイメージ

## 9. まちづくりの担い手・まちを育てるひと

### 9-1 持続可能なまちづくり

1. 都市再生整備計画事業終了後の、市民等、多様な主体によるまちづくり
  - 北の防人大湊も含めた、すばらしいまちをおみなどを育てていくには、市民等、多様な主体がまちづくりに参画することが、求められます。  
そこで、以降の継続したまちづくりは、その後の担い手等の活躍に期待したいところです。
  - 観光交流センター、自然学習体験センターなどを、活動基地とする案内ボランティア、自然体験案内人など、さまざまな、まちづくりの担い手と市により、永遠につづくまちづくりを推進します。

## 10. 文化財の保存活用まちづくり

### 10-1 国指定重要文化財の保存活用

明治後期における石造河川構造物の技術水準の高さが学習できるまちづくり  
平成21年12月8日、大湊水源池公園内の沈澄池堰堤を含む、「旧大湊水源地水道施設」の一部が、東北地方で最初に建設された近代水道施設史上でも価値が高いと評価され、国の重要文化財に指定されました。そこで、これら水道施設の保存、公開など活用検討を図りながらまちづくりを推進するために、関係機関の指導のもと保存活用計画の策定を進めます。

### 10-2 旧参謀長官舎の保存活用

地区に残る明治35年旧海軍参謀長官舎として建設された甲2号官舎は、積雪寒冷地の建築発展を知る上でも貴重な歴史的建築文化遺構です。  
この貴重な建築物をまちづくりに活用しながら、その価値を未来に伝えることが必要です。  
そのためには、財務省から取得し、詳細な調査及び復元・修復が必要です。

## 11. 安全安心まちづくり

### 11-1 旧大湊水源地 水の供給

旧来、水源池公園は水道水を供給するための水源地でした。  
この地区特性を活かし、災害時における水の供給という課題に応えるべく、耐震性貯水槽を設置し、旧大湊水源地の歴史を活かし、同時に安全安心にも配慮を図ります。

## 12. 再生可能エネルギーの地産地消

### 12-1 再生可能エネルギー利用による地域にやさしいまちづくり

水力、太陽光発電等により電力確保をし、地域にやさしいまちづくり、災害時の電力確保を目指します。  
これらの取り組みを、地域の交流アイテムとして活用を図ります。

# 北の防人大湊づくり構想書（案）ワークショップ検討資料です 120914

## 13. そのほか

### 13-1. 重要文化財認識度調査アンケート

#### 1. 調査内容について

このアンケート調査は北の防人大湊整備事業に伴う、現状での市民の重要文化財施設群に対する認識度、興味関心度の把握を趣旨としています。また、北の防人大湊づくりに対する意見、提案事項の記入欄を設けており、市民の整備に対する意見並びに提案等を、この構想書、都市再生整備計画に反映させています。またこのアンケートは平成 25、27 年度に行い、目標達成状況の確認に活用する予定です。

#### (1)調査対象

北の防人大湊地区及びその周辺に住む住民を対象とし、地区内及び周辺の世帯主約 4,800 人を無作為抽出し、北の防人大湊地区および整備内容に関するアンケートを送付。

#### (2)アンケート回収期限

平成 23 年 1 月 31 日～平成 23 年 2 月 14 日まで(14 日付けの消印までを有効とする)

#### (3)アンケート回収数

1,043票回収 →全配布中(約4,800通)のうち約21.7%回収(小数点以下第2位を四捨五入)

#### (4)アンケート様式

A3両面刷り 全16問(選択式:13問 自由記入式:3問)

**都市再生整備計画【北の防人大湊地区】**  
～北の防人大湊づくりアンケート調査～

**【事業内容】**  
平成 21 年 12 月 8 日に『旧大湊水源地水道施設』が、国の重要文化財並びに重要文化財「附（つかけり）」として指定を受けました。これを受け、現在市ではこれらの貴重な文化財を有効活用するため、水源地公園周辺を含めた「北の防人大湊地区」を、市民並びに観光客が親しみ憩える観光ゾーンとして創出させるための整備構想を策定しています。  
\*1 附とは指定された文化財と一体となって、価値を形成する付随的なものです。

**【記入方法】**  
このアンケートは世帯主の方へ送付しておりますが、回答する方はご家族のどなたでも構いません。アンケートは整備に対する市民の皆様のご意見を、お伺いするためのものですのでお気軽にお答え下さい。  
アンケートご記入後は、同封されている返信用封筒に入れて 2月14日までに近隣の郵便ポストへ投函ください。切手は不要です。お間違えのないようお気を付け下さい。皆様にはお手数をお掛けしますが、ご協力よろしくお願いたします。

事業の内容は、むつ市役所都市建築課前の掲示スペースや市のHPにも掲載しているよ。

アンケート調査についてのお問い合わせ  
北の防人大湊づくりプロジェクトチーム  
事務局 都市建築課 都市計画グループ  
担当 山道 眞澤  
電話 0175-22-1111 (内線 2744)  
Email [mt-toohiken03@city.mutsu.lg.jp](mailto:mt-toohiken03@city.mutsu.lg.jp)

問 10. 次の水源地公園周辺クイズにお答え下さい。《正解だと思うもの一つお選び下さい。》  
Q1:「この中で国の重要文化財として指定を受けたものはどれでしょうか(附は除く)。」  
※ 附とは指定された文化財と一体となって、価値を形成する付随的なものです。

1: 文化財収蔵庫 2: 大湊川取水所 3: 第一引入口 4: 北洋館

Q2:「この中で国の重要文化財(附)はどれでしょうか。」  
1: 旧女子寮 2: 沈澄池堰堤 3: 甲水槽 4: 乙水槽

Q3:「どの分野の文化財として指定を受けたのでしょうか」  
1)伝統的建造物群保存地区 2)民俗文化財 3)有形文化財 4)文化的景観 5)埋蔵文化財

Q4:「水源地公園で国の重要文化財の指定を受けた箇所はいくつでしょうか。」※(附)も含みます。  
1)2箇所 2)3箇所 3)4箇所 4)5箇所 5)5箇所以上

Q5:「沈澄池堰堤に使用されている石の種類はどれでしょうか。」  
1)玄武岩 2)花崗岩 3)流紋岩 4)安山岩 5)わからない

Q6:「沈澄池堰堤の建設に携わった有名建築家は誰でしょうか。」  
1)黒川 紀章 2)安藤 忠雄 3)桜井 小太郎 4)アントニ・ガウディ 5)わからない

Q7:「水源地公園内に植えられている桜の種類はソメイヨシノとともう1種類はどれでしょうか。」  
1)大山桜(オオヤマザクラ) 2)横貴紀(ヨウキキ) 3)八重桜(ヤエザクラ) 4)貴桜(キザクラ) 5)湊桜(ミナトザクラ)

Q8:「大湊海上自衛隊地方総監部にある護衛艦などを整備する施設はどれでしょうか。」  
1)YAMATO 2)1万トンドック 3)10万トンドック 4)ホワイトベース 5)自衛隊整備庫

Q9:「次の中で旧海軍時代に軍士官たちの社交場として建築された施設はどれでしょうか。」  
1)旧女子寮 2)学習センター 3)総監部 4)文化財収蔵庫 5)北洋館

Q10:「海軍コロケの Mascot キャラクターの名前はどれでしょうか。」  
1)水兵コロロン 2)海軍コロ助 3)コロシェフ  
4)海軍コロちゃん 5)水兵コロ助 6)水兵コロちゃん

## 14. 各建築物の利活用案

### ● 観光交流センター

#### ① オープンカフェ

- ◇ 名物づくり、市民手作りハーブティー、ハーブケーキ、バラの紅茶、斗南ソフトクリームなど
- ◇ そば、海軍カレー、手作りピザ・パン、軽食
- ◇ 無料サービス茶も検討する。

#### ② おみやげ品

- ◇ 海軍グッズ
- ◇ 海上自衛隊グッズ
- ◇ (水兵) ムチュラン、(ハイカラさん) マダム・ムチュリーグッズ
- ◇ 地場おみやげ品

#### ③ 交流スペース

- ◇ ハッピーウエディングなどに活用する。

#### ④ 情報提供ラウンジ

- ◇ 観光情報入手機能の創出
- ◇ Wi-Fiスポットの提供(公衆無線LAN)によるくつろぎ空間の創出

#### ⑤ ムチュラン・ムチュリー写真館

#### ⑥ 水源地公園管理棟機能

#### ⑦ 体験学習(花と木の植栽・手入れの仕方、ハーブの活用)

### ● 石造り官舎(旧大湊高校女子寮)

#### ① レセプション等迎賓館機能

#### ② 従来学習センターで行われていた社交ダンスの場

#### ③ セミナー活動

### ● 石造り官舎(市収蔵庫)

#### ① 遠足による利活用、イベントに合わせた展示活用

北の防人大湊づくり構想書（案）

北の防人大湊づくりプロジェクトチーム

事務局 むつ市建設部都市建築課都市計画グループ

平成 23 年 7 月 初版

平成 24 年 9 月 第二版